



茨城県

# 茨城県景気ウォッチャー調査

(令和2年9月調査分)

## 《景気の現状判断DI》

	令和2年6月	令和2年9月	前回調査比
茨城県	23.8	<b>44.6</b>	+20.8
県北地域	24.6	<b>43.3</b>	+18.7
県央地域	16.8	<b>45.6</b>	+28.8
鹿行地域	24.6	<b>45.6</b>	+21.0
県南地域	26.4	<b>42.5</b>	+16.1
県西地域	26.8	<b>45.8</b>	+19.0

## 《景気の先行き判断DI》

	令和2年6月	令和2年9月	前回調査比
茨城県	41.5	<b>42.7</b>	+1.2
県北地域	38.1	<b>40.2</b>	+2.1
県央地域	45.5	<b>46.1</b>	+0.6
鹿行地域	37.5	<b>46.1</b>	+8.6
県南地域	42.5	<b>39.5</b>	△3.0
県西地域	44.2	<b>41.7</b>	△2.5

令和2年10月

茨城県政策企画部統計課

## 目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先  
茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632  
公式サイトのURL  
<https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

## 2 調査の範囲

### (1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、大子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

### (2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

業 種 名	具 体 例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業、建設業、金融業等	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

## 3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	281 人	93.7%
県北地域	60 人	56 人	93.3%
県央地域	60 人	57 人	95.0%
鹿行地域	60 人	57 人	95.0%
県南地域	60 人	57 人	95.0%
県西地域	60 人	54 人	90.0%

## 4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断 (方向性)
- (2) (1) のコメント (理由)
- (3) 景気の先行きに対する判断 (方向性)
- (4) (3) のコメント (理由)
- (5) その他景気に関する意見 (自由回答)

## 5 調査月及び調査期間

調査月は6月, 9月, 12月及び3月の年4回である。令和2年9月調査の調査期間は, 令和2年9月4日から20日までである。

## 6 利用上の注意

- (1) D I (Diffusion Index) は景気の方性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり, 景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は, 小数第1位までの表示とし, 表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって, 構成比の合計は100%とならない場合がある。

### ※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は, 以下のとおり5段階としているが, それぞれに点数化し, これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて, 景気の方性をみるための指標 (D I) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例  
回答者数100名で, 回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は,

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって, D I 値は,  
(1点×15.0%) + (0.75点×27.0%) + (0.5点×25.0%) + (0.25点×11.0%)  
+ (0点×22.0%) = 50.5となる。

この値は, 全員が「変わらない」と回答した場合は50 (=0.5点×100%) となることから, 50を上回っているときは, 景気は上昇局面にあり, 50を下回っているときは, 景気の下  
降局面にあるといえる。

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 全県の動向

#### (1)景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは44.6となった。令和2年6月調査（以下「前回調査」という。）より20.8ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を8期連続で下回った。

表1-1 景気の現状判断DI

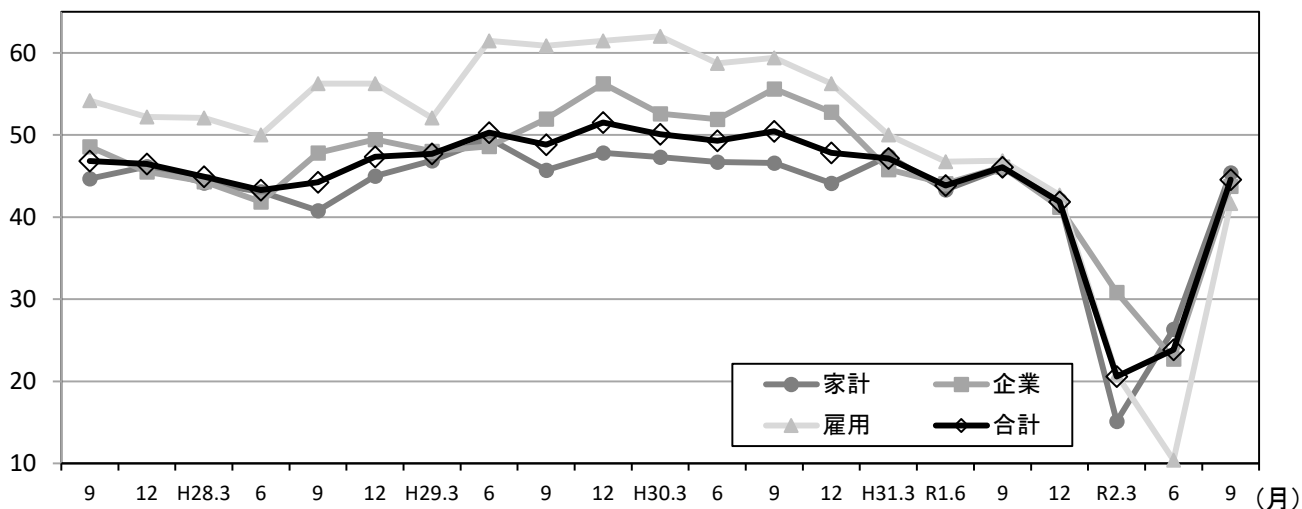
分野	調査年月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
合計		46.1	41.9	20.6	23.8	44.6
家計動向関連		46.0	42.1	15.1	26.3	45.4
小売関連		44.3	36.5	20.5	35.2	42.1
飲食関連		40.9	39.3	16.7	17.5	47.4
サービス関連		49.0	47.3	9.0	19.7	49.0
住宅関連		43.8	46.9	25.0	39.3	35.7
企業動向関連		46.1	41.2	30.8	22.8	43.8
農林水産業		57.1	40.6	42.9	21.4	33.3
製造業		42.7	38.5	29.1	24.0	47.4
非製造業		48.6	45.0	30.9	21.3	40.4
雇用関連		46.9	42.7	20.8	10.4	41.7

表1-2 回答構成比

	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
良くなっている	1.0%	1.1%	1.8%	3.2%	3.2%
やや良くなっている	18.1%	12.0%	4.6%	12.5%	26.7%
変わらない	50.5%	48.1%	14.8%	11.4%	29.9%
やや悪くなっている	24.7%	31.1%	32.0%	22.4%	25.6%
悪くなっている	5.6%	7.8%	46.8%	50.5%	14.6%

図1-1 景気の現状判断DIの推移

(DI)



## (2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは42.7となった。前回調査より1.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を8期連続で下回った。

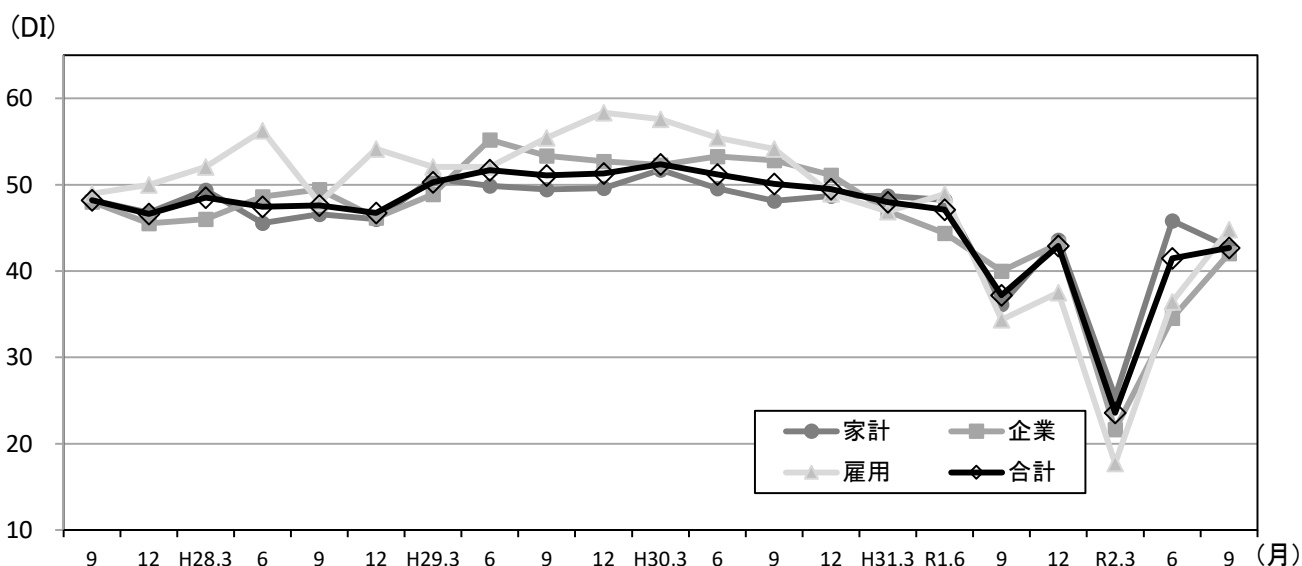
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
合計		37.2	42.9	23.6	41.5	42.7
家計動向関連		36.1	43.6	25.4	45.8	42.8
小売関連		29.5	42.3	20.8	43.6	41.8
飲食関連		35.2	45.2	40.5	57.5	44.7
サービス関連		42.5	43.6	26.3	45.7	44.5
住宅関連		31.3	50.0	15.6	35.7	28.6
企業動向関連		40.0	43.1	21.7	34.6	42.0
農林水産業		46.4	37.5	35.7	35.7	37.5
製造業		38.0	42.7	20.9	38.5	43.8
非製造業		41.4	45.0	19.9	28.7	40.4
雇用関連		34.4	37.5	17.7	36.5	44.8

表1-4 回答構成比

	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
良くなっている	1.4%	0.0%	0.7%	2.8%	2.5%
やや良くなっている	9.8%	12.4%	11.6%	26.3%	17.1%
変わらない	38.3%	53.7%	14.8%	27.8%	42.7%
やや悪くなっている	37.3%	27.2%	27.1%	19.9%	24.2%
悪くなっている	13.2%	6.7%	45.8%	23.1%	13.5%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



## 2 地域別の動向

### (1)景気の現状判断DI

#### ① 県北地域

景気の現状判断DIは43.3となった。前回調査より18.7ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を8期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

調査年月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
分野					
合計	<b>46.1</b>	<b>45.5</b>	<b>20.6</b>	<b>24.6</b>	<b>43.3</b>
家計動向関連	46.3	46.3	16.9	22.9	46.3
企業動向関連	43.4	44.4	27.6	28.9	40.3
雇用関連	56.3	43.8	18.8	18.8	31.3

表2-2 回答構成比

	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
良くなっている	1.8%	0.0%	0.0%	3.4%	3.6%
やや良くなっている	15.8%	16.1%	8.8%	13.6%	28.6%
変わらない	50.9%	55.4%	14.0%	8.5%	23.2%
やや悪くなっている	28.1%	23.2%	28.1%	27.1%	26.8%
悪くなっている	3.5%	5.4%	49.1%	47.5%	17.9%

#### ② 県央地域

景気の現状判断DIは45.6となった。前回調査より28.8ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を4期連続で下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

調査年月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
分野					
合計	<b>50.9</b>	<b>42.5</b>	<b>18.5</b>	<b>16.8</b>	<b>45.6</b>
家計動向関連	52.0	43.8	10.1	21.4	50.0
企業動向関連	48.4	39.1	35.9	6.7	41.7
雇用関連	50.0	45.0	25.0	15.0	25.0

表2-4 回答構成比

	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
良くなっている	3.4%	3.5%	3.4%	3.6%	3.5%
やや良くなっている	27.6%	8.8%	5.2%	9.1%	29.8%
変わらない	41.4%	47.4%	8.6%	3.6%	31.6%
やや悪くなっている	24.1%	35.1%	27.6%	18.2%	15.8%
悪くなっている	3.4%	5.3%	55.2%	65.5%	19.3%

### ③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは45.6となった。前回調査より21ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を9期連続で下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

調査年月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
分野					
合計	<b>41.2</b>	<b>42.7</b>	<b>22.4</b>	<b>24.6</b>	<b>45.6</b>
家計動向関連	39.4	41.9	20.5	30.9	47.1
企業動向関連	43.4	43.4	27.6	18.4	45.8
雇用関連	45.0	45.0	15.0	5.0	35.0

表2-6 回答構成比

	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
良くなっている	0.0%	1.7%	1.8%	3.4%	1.8%
やや良くなっている	14.0%	15.5%	3.5%	12.1%	26.3%
変わらない	47.4%	44.8%	15.8%	12.1%	29.8%
やや悪くなっている	28.1%	27.6%	40.4%	24.1%	36.8%
悪くなっている	10.5%	10.3%	38.6%	48.3%	5.3%

### ② 県南地域

景気の現状判断DIは42.5となった。前回調査より16.1ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を6期連続で下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

調査年月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
分野					
合計	<b>46.6</b>	<b>40.7</b>	<b>20.9</b>	<b>26.4</b>	<b>42.5</b>
家計動向関連	47.8	40.8	14.8	28.2	39.4
企業動向関連	46.1	39.5	30.6	27.9	46.1
雇用関連	40.0	45.0	25.0	10.0	50.0

表2-8 回答構成比

	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
良くなっている	0.0%	0.0%	1.8%	3.8%	3.5%
やや良くなっている	13.8%	13.0%	3.6%	9.4%	24.6%
変わらない	63.8%	44.4%	16.4%	18.9%	28.1%
やや悪くなっている	17.2%	35.2%	32.7%	24.5%	26.3%
悪くなっている	5.2%	7.4%	45.5%	43.4%	17.5%



### ③ 県西地域

景気の現状判断DIは45.8となった。前回調査より19ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を26期連続で下回った。

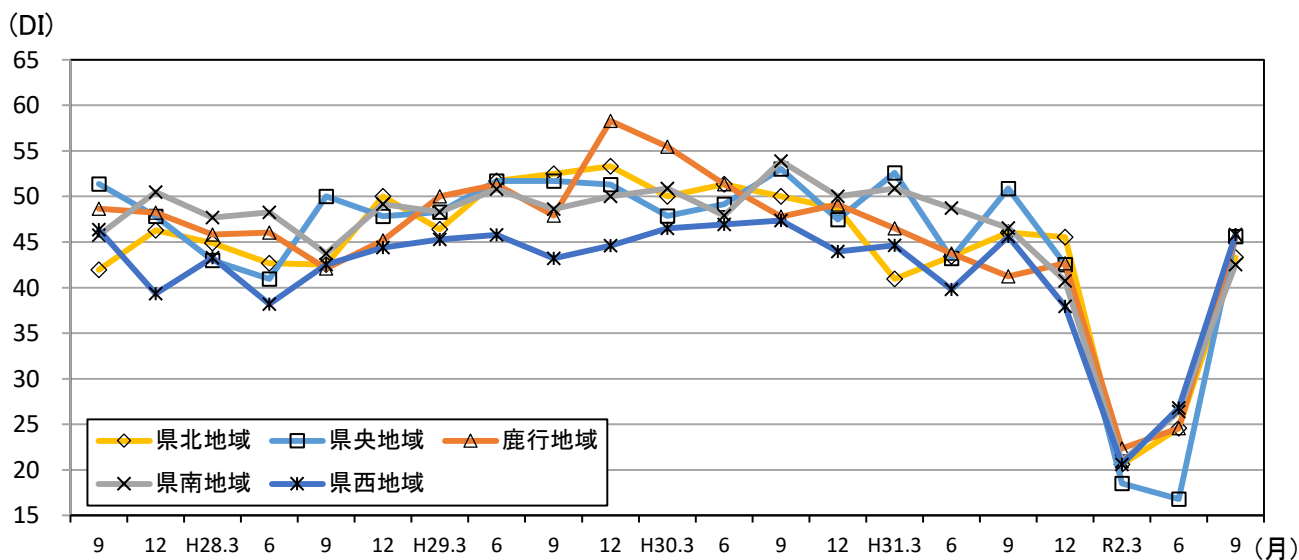
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
合計		45.6	37.9	20.6	26.8	45.8
家計動向関連		43.6	37.5	14.0	28.9	43.5
企業動向関連		50.0	39.5	33.3	28.9	44.4
雇用関連		45.0	35.0	20.0	5.0	65.0

表2-10 回答構成比

	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
良くなっている	0.0%	0.0%	1.8%	1.8%	3.7%
やや良くなっている	19.3%	6.9%	1.8%	17.9%	24.1%
変わらない	49.1%	48.3%	19.3%	14.3%	37.0%
やや悪くなっている	26.3%	34.5%	31.6%	17.9%	22.2%
悪くなっている	5.3%	10.3%	45.6%	48.2%	13.0%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



	27.9	27.12	28.3	28.6	28.9	28.12	29.3	29.6	29.9	29.12	30.3	30.6	30.9	30.12	31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9月
県全体	46.8	46.5	44.9	43.3	44.2	47.3	47.7	50.3	48.8	51.5	50.1	49.3	50.4	47.8	47.1	43.8	46.1	41.9	20.6	23.8	44.6
県北	42.0	46.3	44.9	42.7	42.5	50.0	46.4	51.7	52.5	53.3	50.0	51.3	50.0	48.7	40.9	43.4	46.1	45.5	20.6	24.6	43.3
県中央	51.4	47.8	43.0	40.9	50.0	47.8	48.3	51.7	51.7	51.3	47.9	49.2	53.0	47.5	52.6	43.2	50.9	42.5	18.5	16.8	45.6
鹿行	48.6	48.2	45.8	46.1	42.1	45.2	50.0	51.3	47.9	58.3	55.5	51.3	47.8	49.1	46.5	43.8	41.2	42.7	22.4	24.6	45.6
県南	45.8	50.5	47.7	48.3	43.8	49.2	48.3	50.8	48.6	50.0	50.9	47.9	53.9	50.0	50.9	48.7	46.6	40.7	20.9	26.4	42.5
県西	46.4	39.4	43.3	38.2	42.5	44.4	45.3	45.8	43.2	44.6	46.5	46.9	47.4	44.0	44.6	39.8	45.6	37.9	20.6	26.8	45.8
全国	48.9	47.8	43.1	41.9	46.3	49.8	48.6	50.8	50.9	52.7	49.8	49.0	48.2	46.6	44.9	44.1	46.6	39.7	14.2	38.8	49.3(季節調整値)
	47.5	48.7	45.4	41.2	44.8	51.2	50.6	49.9	49.6	53.9	51.7	48.2	47.3	48.2	46.7	43.3	45.7	40.7	15.9	38.0	48.7(原数値)

## (2)景気の先行き判断DI

### ① 県北地域

景気の先行き判断DIは40.2となった。前回調査より2.1ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を7期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

調査年月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
分野					
合計	<b>40.8</b>	<b>46.9</b>	<b>23.7</b>	<b>38.1</b>	<b>40.2</b>
家計動向関連	41.9	50.7	27.2	40.3	38.2
企業動向関連	40.8	41.7	17.1	34.2	43.1
雇用関連	31.3	37.5	25.0	37.5	43.8

表2-12 回答構成比

	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
良くなっている	3.5%	0.0%	0.0%	3.4%	1.8%
やや良くなっている	8.8%	14.3%	10.5%	20.3%	10.7%
変わらない	45.6%	62.5%	17.5%	28.8%	42.9%
やや悪くなっている	31.6%	19.6%	28.1%	20.3%	35.7%
悪くなっている	10.5%	3.6%	43.9%	27.1%	8.9%

### ② 県央地域

景気の先行き判断DIは46.1となった。前回調査より0.6ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を6期連続で下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

調査年月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
分野					
合計	<b>35.3</b>	<b>42.5</b>	<b>24.6</b>	<b>45.5</b>	<b>46.1</b>
家計動向関連	32.4	42.4	25.0	56.4	50.0
企業動向関連	40.6	45.3	25.0	25.0	40.0
雇用関連	40.0	35.0	20.0	30.0	35.0

表2-14 回答構成比

	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
良くなっている	1.7%	0.0%	3.4%	5.5%	0.0%
やや良くなっている	13.8%	8.8%	12.1%	32.7%	29.8%
変わらない	25.9%	56.1%	12.1%	25.5%	38.6%
やや悪くなっている	41.4%	31.6%	24.1%	10.9%	17.5%
悪くなっている	17.2%	3.5%	48.3%	25.5%	14.0%

### ③ 鹿行地域

景気の先行き判断D Iは46.1となった。前回調査より8.6ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を8期連続で下回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

調査年月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
分野					
合計	<b>34.2</b>	<b>43.1</b>	<b>20.2</b>	<b>37.5</b>	<b>46.1</b>
家計動向関連	31.8	42.6	22.0	41.9	44.9
企業動向関連	38.2	47.4	19.7	32.9	48.6
雇用関連	35.0	30.0	10.0	25.0	45.0

表2-16 回答構成比

	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
良くなっている	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%
やや良くなっている	3.5%	15.5%	8.8%	22.4%	15.8%
変わらない	36.8%	50.0%	12.3%	27.6%	49.1%
やや悪くなっている	45.6%	25.9%	29.8%	27.6%	24.6%
悪くなっている	12.3%	8.6%	49.1%	22.4%	7.0%

### ② 県南地域

景気の先行き判断D Iは39.5となった。前回調査より3.0ポイント低下して、横ばいを表す50を5期連続で下回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

調査年月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
分野					
合計	<b>38.4</b>	<b>39.4</b>	<b>23.2</b>	<b>42.5</b>	<b>39.5</b>
家計動向関連	37.5	42.5	26.6	45.2	37.9
企業動向関連	40.8	34.2	18.1	36.8	38.2
雇用関連	35.0	40.0	20.0	45.0	55.0

表2-18 回答構成比

	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
良くなっている	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%	5.3%
やや良くなっている	8.6%	9.3%	12.7%	26.4%	15.8%
変わらない	48.3%	51.9%	10.9%	26.4%	35.1%
やや悪くなっている	31.0%	25.9%	32.7%	15.1%	19.3%
悪くなっている	12.1%	13.0%	43.6%	26.4%	24.6%

### ③ 県西地域

景気の先行き判断DIは41.7となった。前回調査より2.5ポイント低下して、横ばいを表す50を7期連続で下回った。

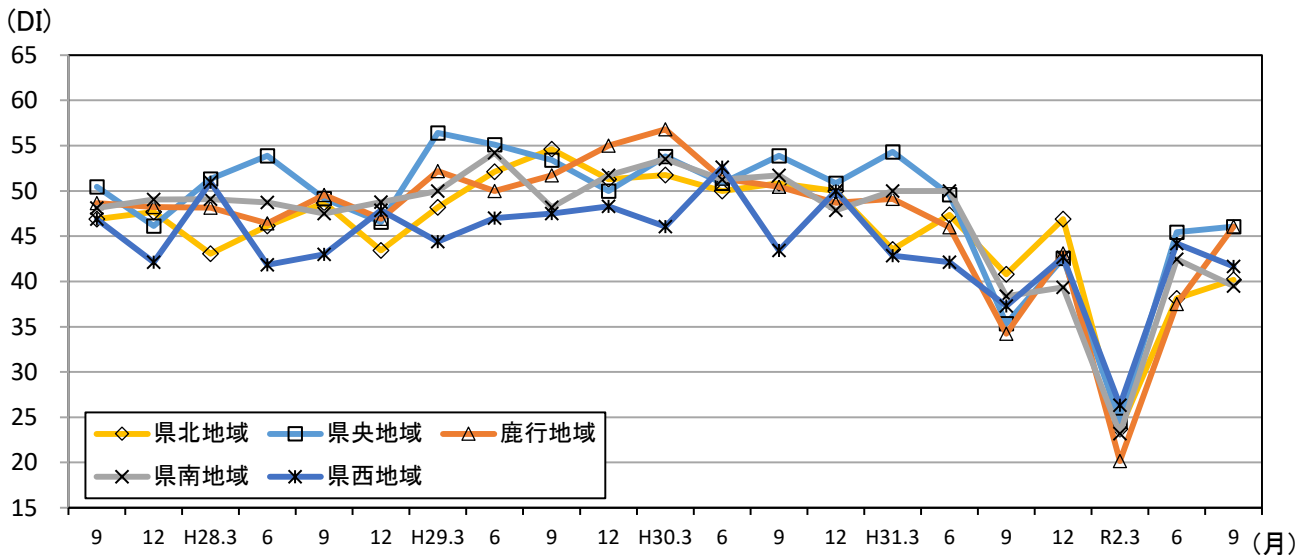
表2-19 景気の先行き判断DI

調査年月	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
分野					
合計	<b>37.3</b>	<b>42.7</b>	<b>26.3</b>	<b>44.2</b>	<b>41.7</b>
家計動向関連	37.1	39.7	26.5	45.3	41.9
企業動向関連	39.7	47.4	29.2	42.1	40.3
雇用関連	30.0	45.0	15.0	45.0	45.0

表2-20 回答構成比

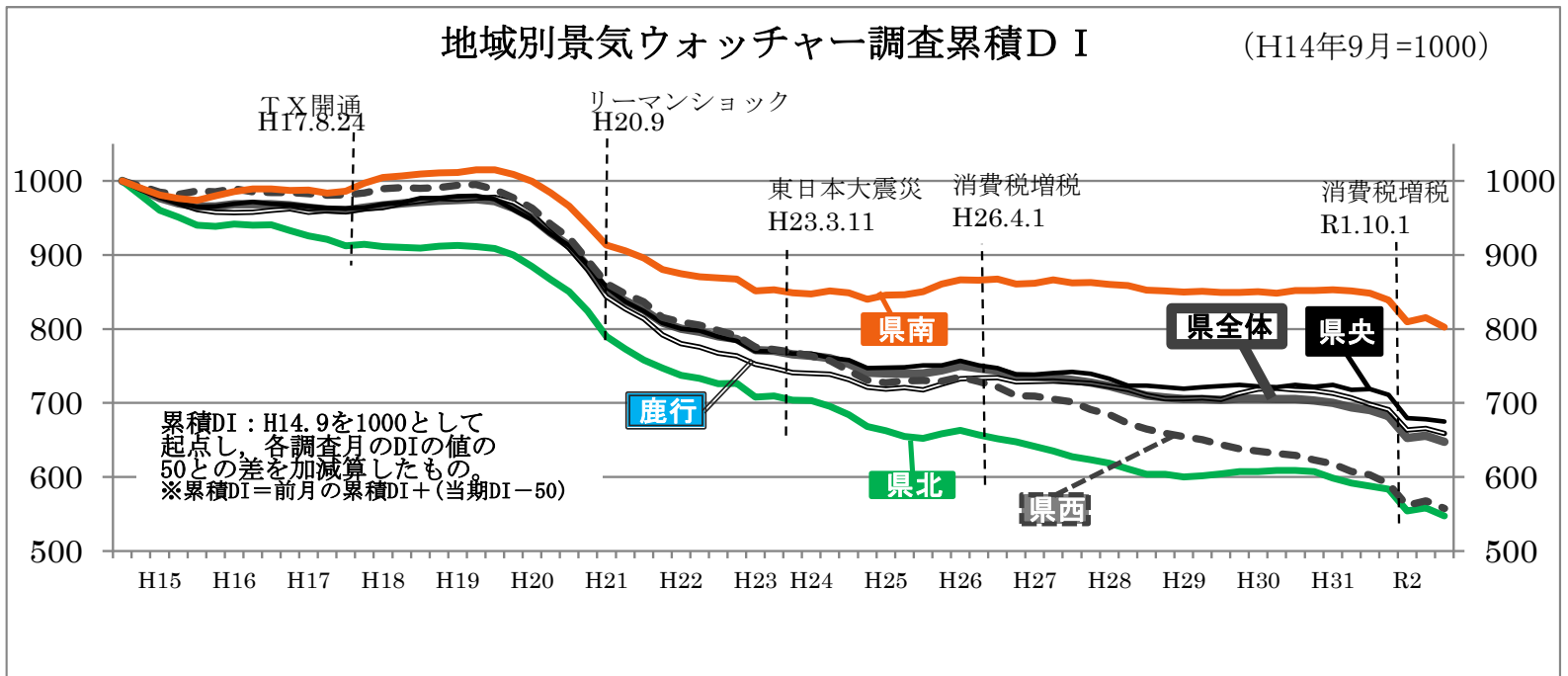
	令和元年 9月	令和元年 12月	令和2年 3月	令和2年 6月	令和2年 9月
良くなっている	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%
やや良くなっている	14.0%	13.8%	14.0%	30.4%	13.0%
変わらない	35.1%	48.3%	21.1%	30.4%	48.1%
やや悪くなっている	36.8%	32.8%	21.1%	25.0%	24.1%
悪くなっている	14.0%	5.2%	43.9%	14.3%	13.0%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



	27.3	27.6	27.9	27.12	28.3	28.6	28.9	28.12	29.3	29.6	29.9	29.12	30.3	30.6	30.9	30.12	31.3	R1.6	R1.9	R2.6	R2.9月
県全体	48.2	46.6	48.5	47.5	47.6	46.7	50.3	51.7	51.1	51.3	52.4	51.2	50.1	49.5	48.0	47.1	37.2	42.9	23.6	41.5	42.7
県北	46.9	47.7	43.1	46.1	48.7	43.4	48.2	52.1	54.6	51.3	51.8	50.0	50.9	50.0	43.5	47.4	40.8	46.9	23.7	38.1	40.2
県中央	50.5	46.1	51.3	53.9	49.2	46.6	56.4	55.1	53.4	50.0	53.8	50.8	53.9	50.8	54.3	49.6	35.3	42.5	24.6	45.5	46.1
鹿行	48.6	48.2	48.1	46.4	49.6	46.9	52.2	50.0	51.7	55.0	56.8	51.3	50.4	48.7	49.1	46.0	34.2	43.1	20.2	37.5	46.1
県南	48.1	49.1	49.1	48.7	47.5	48.8	50.0	54.2	48.2	51.7	53.5	51.3	51.7	47.8	50.0	50.0	38.4	39.4	23.2	42.5	39.5
県西	46.9	42.1	51.0	41.8	43.0	47.8	44.4	47.0	47.5	48.3	46.1	52.6	43.4	50.0	42.9	42.1	37.3	42.7	26.3	44.2	41.7
全国	50.2	49.1	46.5	40.7	49.6	50.0	49.1	50.7	51.4	52.2	50.2	50.2	51.8	47.9	48.1	45.6	37.8	45.5	18.8	44.0	48.3(季節調整値)
	49.1	48.2	46.7	41.5	48.5	49.0	49.0	51.5	50.4	51.3	50.1	50.9	50.7	47.0	47.9	46.3	36.7	44.5	18.7	44.8	47.1(原数値)

(参考) 地域別累積DI



III 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	ラーメン店	ここ最近、新店舗オープンなどテイクアウト事業に特化した新しいスタイルが見え始めた。
		ゴルフ場	6月時点から見て、現在の来場者実績は11ポイント増の改善である。新型コロナウイルスの感染防止で自粛していた高齢者がマスク等の着用を含め、対策に努力している。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの影響が限定的となり、人の交流が少しずつ戻ってきている。
		酒・各種商品小売業	新型コロナウイルスによる自粛が緩和され、旧那珂湊地区にも多くの人々が魚市場周辺や阿字ヶ浦海岸などに来た。当店と取引のある飲食店に、例年通りとはいかないまでも客が来店し、それなりに酒の売上も上がった。
		小売業（弁当・惣菜店）	一時期の新型コロナウイルスの影響はまだ続いているが、個人の消費に関しては戻りつつある。
		小売業（燃料）	販売数量は回復しているが、前年比までは戻っていない。
		小売業（酒類）	日立市が実施する「ひたちのまちでお買い物」事業に参加した。前年度実績以上の活気ある営業ができた。
		小売業（時計）	補助金の10万円効果なのか、高額品は出ないが、修理品がかなり多くなっている。
		観光型ホテル	外出する人が増えてきている。
		観光型ホテル	3か月前の時点では、休館中であった。7月より感染症対策（茨城アマビエちゃん等）を実施したうえで営業を再開し、茨城おうえん割、GoToトラベルの実施もあり、状況はやや良くなっていると思われる。
		観光型ホテル	GoToトラベル事業の開始に伴い、宿泊についてはほぼ予約が埋まっている状況。ただし、団体宿泊、日帰り宴会は壊滅状態で、今年の売り上げには程遠い。
		タクシー運転手	3か月前に比べればやや良くなっていると言えるが、前年同期比では大幅に景気は悪くなっていると判断する。
		レジャー施設	新型コロナウイルスの影響で、3か月前の売上げは最低（対前年比90%減）の状況で、それと比べてやや良くなっている（対前年比30%減）状況だが、景気としては最低に変わらない。
		ゴルフ場	3か月前は、国や県からの新型コロナウイルスの感染防止策として、休業や短縮営業を要請されていた施設が多くあったが、現在はその要請が解除され、通常営業になった施設や店舗がほとんどである。
		ゴルフ場	市町村で景気対策として様々な金券を出している。
企業	企業	林業関係者	6月以降、来場者数が回復傾向にあり、7月、8月については前年同月比増となる。ただし、団体客率減などにより売上額は前年同月比で減少傾向。
		製造業（輸送用機械器具）	新型コロナウイルスによるコロナ禍にあって徐々に動き出していると感じる。素材生産量も徐々に増え、これからという感じ。
		製造業（精密機器）	8月の国内販売は前年同月比が11か月連続マイナスとなっているが、前月より2ポイント改善しており、当然部品メーカーに対する要求数量も改善傾向にある。数か月前はショップ別に帰休も実施していたが、現状では回避され、定時までの作業に戻ってきた。また、全世界でも中国・北米の二大市場の回復が牽引し、7月まで改善傾向になってきており、早期の回復を期待したい。
		製造業（精密機器）	受注件数が増えてきた。

変わらない	家計	スーパー	新型コロナウイルスによる需要は3か月前と比べて落ち着いてきた様子。自店においては、客数はやや減少しているが客単価が高めのため売上高は前年を超えている。
		コンビニエンスストア	客数が落ち込み、依然として厳しい状況だが、3か月前との比較では、大きく変化はしていない。
		旅行代理店	3か月前と比較して、対前年売上げに変化がない。
		タクシー運転手	特に何かがあるわけではない。
		ボウリング場	新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言の解除から3か月以上が経過したが、影響が現在でも色濃く残っている。休前日は従来の営業時間で運営しているが、来店者数が深夜帯は減少傾向が続いており、歯止めがかからない状態である。
	企業	製造業（電気機械器具）	前年と比べ、特に変わった傾向はなかった。
		製造業（食料品）	取引先の小売店、スーパーの客が、昨年からみて、やや少ないような気がする。
製造業（電気機械器具）		受注状況が第1四半期（4～6月）と同じように推移している。	
製造業（精密機器）		新型コロナウイルスの影響で生産が減っているため、変わらない。	
建設業		客との会話では、新型コロナウイルスの影響により様々な分野の活動が停滞しており、この状況は長期化するとの見方が多い。このようなことから、現在は横ばいでも先行き不安は大きいので景気は悪くなると思う。	
金融業		飲食業・サービス業等の業種について、新型コロナウイルスの影響により売上げが依然低迷しているため、景気は変わっていない。	
不動産業	全体的に個人・法人問わず、問い合わせ件数は引き続き前年比マイナス。不動産売買・注文住宅建築請負では、新型コロナウイルスの影響により収入不安の顧客もあり、慎重な判断がある。個人住宅リフォームについては、必要最小限の工事のみが目立つ。分譲マンションは競合の少ないエリアでは好調。		
雇用	求人開拓員	県北地区での企業からの求人は相変わらず少ない。出てくるのは介護や常時人手不足の事業所である。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの影響がある。
		スーパー	チラシを持って買い物をする客が多く見られる。商品の場所も聞かれるので、初めての方も多くいるようである。スーパーをまわって少しでも安い物を買う姿勢が見える。
		コンビニエンスストア	給付金を使ってしまい、売上げが伸びなくなっている。
		タクシー運転手	市内の大手企業の客の話などを聞くと、働き方改革やテレワークが定着し、人の動きが少なくなることが予想され、景気には悪影響となると予想される。
		ドライブイン	6月と比較して客数伸び率88%、金額伸び率81%。新型コロナウイルスとこの暑さでは人の動きがまだ鈍い様子。室内で涼しくしていただける所に人が集まっているのか。ドライブする人々も、暑くてソフトクリームやかき氷を買うくらいで土産品は買わない。
		写真店	例年今の時期は成人式の前撮りなどに来館する客が多いが、今年は新型コロナウイルスの影響等で帰郷できない方も多く、撮影の数が減少している。
	企業	水産業関係者	現在の状況もあり、悪化の傾向がしばしば見られる。
		製造業（食料品）	個人店を中心に廃業、店舗閉鎖の光景が増加している。
		製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスの影響で、海外メーカーとのやりとりや現品確認、完成品の立会等ができず購入時期に遅れが出ている。
		製造業（電気機械器具）	前回調査から状況はさほど変わっておらず、液晶・半導体製造装置関連、自動車関連、原子力関連とも受注や引合いが少ない状態が継続している。そもそも顧客への行き来が制限されており、仕事が薄い状態である。会社で帰休を実施するなど状況はあまり良くない。
		運輸業	新型コロナウイルスの影響により出荷台数が減少している。新型コロナウイルスへの対応（在宅勤務、出張自粛等）が続いている。
		情報通信業（情報サービス業）	IT業界にも新型コロナウイルスによるコロナ禍の影響が出始めている。
	雇用	求人広告	新型コロナウイルスの第2波による停滞は大きい。
公共職業安定所		有効求人倍率は6月に1倍を下回った。平成27年6月に1倍を下回ってから5年ぶり。その後若干持ち直したものの、再び0.99倍と1倍を下回った。依然として、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業所の休業や外出が制限され、先行き不透明な状況が続いているためと思われる。	
学校就業関係者		新たな求人がなくなった。	
悪くなっている	家計	スーパー	新型コロナウイルスによる自粛から、家庭料理の需要が高まり、スーパー業界としては一時的な売上げ増加となったが、一方で盆の帰省が少なく、盆期間は売上げ減となる。また、8月後半から客が食費に使う金額が減りつつある中、景気という観点では悪くなっていると考えざるを得ない。
		衣料品販売店	祭り、イベント、その他の催し物が全部中止になった。
		自動車販売店	新型コロナウイルスの影響で消費者の購買意欲が低下している。
		小売業（水産物）	新型コロナウイルスの影響が大きい。飲食業者からの購入が大幅に減っている。一般客も、購入量が増加していない。
		レストラン	新型コロナウイルスの影響がある。
		スナック	新型コロナウイルスの影響がある。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響（感染拡大）により、外出制限になった。企業の在宅勤務が常態化、促進されている。
	写真店	例年通りの行事が中止になっている。新規の仕事もない。	
企業	製造業（化学工業）	新型コロナウイルスの収束に目処が立たず、県のステージも3となった。市場では経済再生に悲観的である。	
	運輸附帯サービス業	受注が減り、売上げが下がっている。派遣先から、派遣者の労働日数を減らしたいと相談を受けた。	

(2) 県央地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	楽器販売	そもそも3か月前は死にそうなくらい悪かったので比較の必要もないが、その時期に販売予定の商品等が遅れて納品出来たりしている。
	企業	製造業(精密機械器具)	売上高はやや悪くなってはいるが、受注金額ベースで見ればOEMの受注がまとまって入り、総合的には良くなっている状況である。
やや良くなっている	家計	小売業	新型コロナウイルスの影響でまだ自粛ムードが強かった6月と比較すると多少良くなっているという程度である。
		小売業	3か月前は新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業自粛を行っており、対比が難しい。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスによるコロナ禍の状況で客数は減っているが、購入量は増えているように感じる。
		小売業	新型コロナウイルスへの対応も落ち着き、人の動きが徐々に戻りつつある。
		自動車販売店	対前年、3か月前より来客数、実績ともやや良くなってきている。
		レストラン	GoToトラベルの影響がある。
		レストラン	自粛要請がなくなった。
		割烹料理店	やはり新型コロナウイルスの影響は大きく、我々のような飲食店は大きな打撃を受けている。しかし、ここ数か月は経済を回さなければという考えからか、客の考えも変わりつつあるような気がする。
		都市型ホテル	宿泊やレストランを中心に徐々に売上の前年比が改善傾向にあるが、婚礼や集宴会など飲食を伴う会合等がまだまだ自粛傾向にあり、良くなっているとは言い切れない状況である。
		観光型ホテル	7月下旬から「いばらき応援割」「GoToトラベル」などが始まり、個人の宿泊客が動き出した。また、10月からは地元自治体の観光誘客施策をはじめ、GoToトラベル事業での「東京解禁」や「地域共通クーポン」「高速周遊パス」も加わり、個人集客で追い風となり、3か月前の予測から大きく伸びている。しかしながら、観光団体のお客様はほとんど動かないため、昨年と比べると減になっている。
		旅行代理店	GoToキャンペーンの恩恵で、人が動き出した。
		バス運転手	貸切バスの稼働が、学校行事を中心に出てきた。
		タクシー会社	景気動向は厳しい状況下ではあるが上昇傾向にあると判断する。5月の営業収入は、茨城県全体で30.4%であったが7月は55.7%で8月予想は58.0%程度で推移すると思われる。
		レジャー施設	新型コロナウイルス蔓延予防対策の緩和により、利用者数も回復傾向に転じてきている。また、徐々に出港艇数も増えてきているので、給油販売数量も伸びてきている状況。
企業	製造業(印刷・同関連業)	新型コロナウイルスの影響で規制および自粛となっていた印刷物が少しずつ戻ってきた。	
	製造業(窯業・土石製品)	3か月前はコロナの影響で人の出も少なく、生活必需品以外の購買意欲が全く感じられなかったが、少しずつ見積りの依頼も増えてきている。	
	不動産業	3か月前と比べて来客数が増加しており、前年比で比べても増加している。	
変わらない	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの影響もひとまず落ち着くかと思ったところ、第2波の感染増加となり状況は変わらない。
		スーパー	新型コロナウイルスによるコロナ禍で、相変わらず飲食店が厳しい状況なので、飲食店との取引が多い当店では厳しい状態が続いている。
		家電量販店	3か月前は給付金の絡みで忙しさがあつた。生活必需品である家電は大きな打撃は今のところない。メーカーの方は工場、営業等に支障は出やすい。
		レストラン	新型コロナウイルスの影響で宴会(団体)の予約がなく、3か月前とほぼ変わらない悪い状況。また、グループでの予約もない。
		都市型ホテル	宿泊、レストランは対前年比5~7割弱の売上げで推移しているが、宴会等、多人数の予約は動きがなく、全体で3割程の売上げと伸びていない。
		旅行会社	新型コロナウイルスの影響で、仕事がほとんどない状況が続いているので、3か月前とほぼ変わりなく仕事がない。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響で3か月前と変わらず、非常に暇な状態が続いている。
		観光名所	3か月前と比較すると来場者数は増加傾向だが、売上は伸びていないので、景気は変わらないと判断する。
		レジャー施設	新型コロナウイルスによるコロナ禍で1か月の休館を経て、5月下旬から営業再開した頃と比較しても、利用者は昨年比で変わらない状況である。利用者が多くなる連休などには、密にならないよう入場制限をする必要があり、以前の状態に戻るのはまだまだ先という状況である。
		スパ・銭湯	新型コロナウイルス感染拡大による営業自粛、休業要請の解除により、7月は前年同月の80%くらいまで回復し、少し安心していたが、後半の感染者増加及び近隣や水戸市内でのクラスター発生と共に大きく落ち込み、8月は前半同月比50%の落ち込みとなる。また、3月~8月の6か月の平均落ち込みは前年比40%となっており、今後も同じような状況になっていくのではないかと思慮している。
		ペット美容室	新型コロナウイルスによるコロナ禍の中だが、稼働率はここ数か月同じ気がする。
		設計事務所	新型コロナウイルスによるコロナ禍の影響もあり、住宅や店舗のリフォーム設計も依然少なく、現在受注している設計も、入金は12月ほどなので、状況は3か月前と変わらない。

変わらない	企業	製造業(食料品)	6月は緊急事態明けで底から上向きになり、7月前半まで上向きだったものが後半にはやや落ち、その状況が現在まで続いている。
		運輸業(道路貨物運送業)	新型コロナウイルスの影響により、荷動きの低迷が続いている。
		金融業	依然として、新型コロナウイルスの影響が過大であり直接・間接的に表れている。
		建設業	都市部に比べて、地方ではあまり新型コロナウイルスの心配をする客がおらず、平均的に仕事や相談が入ってきている。しかし、客のほとんどが年配の方で、若い人からの相談は少ないことから、資金面では若い人は大変なのではないかと思う。
		サービス業(コンサルタント業)	受注が変わらない。
雇用	求人開拓員	当所における求人数、当所利用の求職者数とも大きな変化は見られない。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	新型コロナウイルスの影響で、他業態の状態からみて、行動範囲が狭くなっている。
		スーパー	3月～8月より売上前年比が低下した。
		農産物直売所	家庭消費の客の買い物は順調だが、飲食店オーナーの買い物点数が少なくなっている(事前予約の数量が減っている)。
		設計事務所	引き合いの話が無くなっている。
	企業	製造業(印刷・同関連業)	まだまだ、社会が全体的に動きが感じられない。
		建設業	顧客、受け側両者先送りで鈍化している雰囲気。
	雇用	人材派遣業	受注量も売り上げも減っている。
		公共職業安定所	新規求人数は、対前年同月比で4か月連続でマイナスとなっている。有効求人数は、対前年同月比で9か月連続でマイナスであり、4月以降2桁のマイナスが続いている。
		学校就業関係者	緊急事態宣言期間中でもWeb等を利用し採用活動を続けている企業もあったが、解除後に採用活動を再始動するとの案内が多く届いた。このように経済活動が動き出している実感はある。一方で、周辺の話や聞くと自主的に自粛を継続しているなどの声が多かったため、現実にはもう少し時間がかかるのではないか。このように先の見えない不安の中での生活を強いられ、言いようのないストレスを感じている。
	悪くなっている	家計	小売業
割烹料理店			新型コロナウイルスの影響で売上げが70%減。
スーパー			緊急事態宣言が解除されてから7月までは回復傾向にあったが、地域の夏祭りや商業施設のイベントが全て中止になり、帰省客も減少したことで8月の売上は大きく落ち込んだ。
タクシー会社			緊急事態宣言解除後、夜間の利用客も若干戻りつつあった中で、大工町で感染のクラスターが発生した直後から一気に夜間帯の営業が冷え込んだ。
観光名所			他県の客が多いので営業はしていない。
理・美容店			この数か月、新型コロナウイルスの影響を受け、来店客数も少なく、低迷している。
企業			製造業(食料品)
		製造業(金属製品)	新型コロナウイルス前の受注残もほぼ消化し、今後新型コロナウイルスの影響をまともに受けることになる。今期に入ってから受注は前年比50%程度となっており、非常に厳しい状況。
		製造業(一般機械器具)	自動車、建設機械、工作機械の生産台数減少が影響している。
		工務店	受注工事量が減っている。
雇用		求人広告	収入減の話をよく聞くようになった。消費の減退に繋がると思う。



(3) 鹿行地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業（電気機械器具）	9月から新規案件の生産が開始され、ほぼフル稼働となった。ただ、従来顧客からの受注は低調のままである。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	新型コロナウイルスのワクチンも来年から導入が決まり、ニューフォーマルへの対応が少しずつ整いつつある。その中で、日経平均やダウ平均の上がり方を鑑みても、経済は少しずつ良くなっていると感じる。
		農産物直売所	昨年は、軽減税率が10月1日から適用されるということで、当店のようなほとんどが対象という店は、客が来店しなかった。その分で、今年は売れているというだけである。根本的な景気は悪いということに変わりません。
		小売業（菓子類）	新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきた。
		和食レストラン	新型コロナウイルスによるコロナ禍の影響により、来店客数の減少が3月～5月と続いたが、緊急事態宣言解除後、やや戻りつつあった時期が6月。現在は、前年比ではマイナスであるが客は戻ってきている。テイクアウト弁当やインターネット販売は順調に推移している。
		洋食食堂	3か月前は新型コロナウイルスによるコロナ禍で最悪の状態だったので、比較をするのはとても難しい。市による商店や飲食店へのバックアップも始まり、テイクアウトの需要は増えている。
		観光型ホテル	前年比と比較するとやはり新型コロナウイルスの影響で売上げは下がっているが、緊急事態宣言の解除がなされたこともあり、3か月前よりは景気がやや良くなっていると判断する。
		旅行代理店	GoToキャンペーンを使っての個人旅行が少々入ってきている。
		ドライブイン	客数も徐々に戻ってきている。
		ゴルフ場	緊急事態宣言解除後、シニア層の来場が以前に近い状態に戻りつつある。新型コロナウイルスの感染リスクにより、コンペ需要は相変わらず少ない状況。
		レジャー施設	6月は新型コロナウイルスの影響で休業していた。新型コロナウイルスの最悪の時期よりも人が動くようになっている。
	企業	製造業（金属製品）	海外からの発注品が多くなった。特に中国、アメリカなど。
		建設業	台風対策としてシャッターや雨戸、強化ガラスの発注が増えた。
	雇用	民間職業紹介業	人員の依頼等が増えてきており、企業担当から聞いている情報も、徐々に景気が戻ってきているようであるとのこと。
		公共職業安定所	新規求人数の減少は続いているが、新型コロナウイルスが抑えられている状況もあり、対前年比をみると減少の割合が小さくなっている。
変わらない	家計	商店街代表者	当市内においても依然新型コロナウイルス感染症の影響により小規模事業者は、依然売上げ減少の影響が長引いていると料する。給付金や協力金等の相談は落ち着きつつある。コロナ慣れかもしれないが量販店やスーパー等の人出は徐々に増えているように感じている。
		スーパー	売上げ、客数とも前年比に大きな変化がない。
		スーパー	3月からの新型コロナウイルスによるコロナ禍による巣ごもり需要で、内食化傾向が強くなり食品全般の売上高が堅調に推移している。また日用品もマスクや衛生用品が変わらず非常によく売れている。
		農産物直売所	6月も新型コロナウイルスの影響で客数が減っている。
		小売業（食品）	悪いまま変わらないという意味で、変わらないと判断した。
		小売業（書店）	巣ごもり需要のため前年よりは良くなっていると思うが、3か月前と比べるとほぼ横ばいだと思う。
		ゴルフ場	かなり値下げしないと集客ができない状況が続いており、景気の回復感を感じられない。
		住宅販売会社	新型コロナウイルスによるコロナ禍でも賃貸の客は変わりなく来ている。
	企業	製造業（化学工業）	生産状況は3か月前と比べて、今月も大きな増減がないことから、景気は横ばい状態が続くと判断する。
		製造業（鉄鋼業）	新型コロナウイルスの影響により自動車部品関係が大幅に減少した。
		製造業（ゴム製品）	顧客先からのオーダーの状況から変わらないと判断する。
		製造業（鉄鋼業）	経営環境が厳しい状態が続いている。
		運輸業（道路貨物運送業）	メーカーの動きが戻らず、原料などの出荷がまだ回復していない。
		金融業	依然として、新型コロナウイルスの影響により総体的な業種で客足が伸びず、営業努力ではカバーしきれない状況が続いている。事業転換や業務縮小等の動きも出ている。
不動産業		新型コロナウイルスは、時間と共に大分対応策も考えられ、多少不安感も薄らいだと思う。季節の変動で高温・不安定であり、自然相手の仕事の従事者には6月頃より不安感が増している。相変わらず全体的に明るさに欠ける。	
	火力発電所	販売量に変動がない。	

やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの影響で客数が減少した。
		衣料品販売店	客数が減っている。GoToトラベルが期待外れ（期待もしていなかったが）。外出、旅行などを控えている現状では洋服が売れない。
		家電販売店	消費者の動向が変わり、客数の減少が見られる。
		小売業（薬品店）	新型コロナウイルス関連の商品の売上が鈍化している。
		小売業（薬品店）	新型コロナウイルスで、クリニックの受診を控えている患者が多いのか、外来患者が減っている。
		小売業	当社は、贈答品の小売販売店である。人が集まり、ビジネスとなる業種だが、新型コロナウイルスの感染を防ぐため、イベントや各種大会の中止や親戚・友人同士の集まり事の自粛が続いている。大変厳しい業界である。
		割烹料理店	客は思った以上に来てくれているが、多人数の会食の予約が入らないので売上げは伸びない。
		日本料理店	コロナ禍で接待がほとんどない。事業縮小の話聞く。タクシー代行も動かない。スナックなどももたないとの話を聞く。
		観光型ホテル	合宿がメインの受け入れのため、新型コロナウイルスの危険を考えている。
		運転代行	新型コロナウイルスの影響で予約もほとんどなく、売上げが下がった。人もあまり出ていないように思う。
		理・美容店	新型コロナウイルスの後、収入の減っている人も多いらしく、バリカンなどを買って自分で済ませてしまう家族も増えたようである。
		クリーニング店	新型コロナウイルスの中、他県からの移動が緩和されているが、飲食店での会食、会合は少ないようだ。営業時間も夜は20時頃には閉店している。
	住宅販売会社	住宅リフォームの問い合わせはあるが、以前と違って他社との見積もり競合が多く、成約までに時間がかかる。	
	企業	農業関係者	新型コロナウイルスの影響で、サービス業を中心に消費がかなり落ち込んでおり、外食産業にも影響している状況の中、農産物も影響される品目もあり、今後の消費者の購買意欲が持ち直すには時間がかかると思われる。
製造業（食料品）		デフレ不況の時のように閉塞感を感じる。客が気軽に入店しているように見えない。従って、客数の減少がある。	
製造業（食料品）		巣ごもり需要の継続により多少の変動幅はあるものの、缶詰製品の販売は順調に推移している。一方で、当地域の特色であるスポーツ民宿のキャンセルが多発している事からも業種間のバラツキが激しい。	
建設業		新型コロナウイルスの流行による景気の悪循環が見られる。	
運輸業（道路貨物運送業）		業績はなだらかに下降傾向にあり低迷状態。前年比として8～10%低下で推移している。	
保険業 不動産業		新型コロナウイルスの影響でイベント保険契約が減少している。 新型コロナウイルスが収束しないとどうしようもない。	
雇用	学校就業関係者	学生に対する求人情数及び求人数が減っている。採用条件が厳しく、内定が今までの様にももらえない。	
悪くなっている	家計	タクシー運転手	東京を中心に新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりを続けているため、出張者をはじめ人の動きが悪いと感じる。
	雇用	人材派遣業 求人開拓員	派遣の新規オーダーが極めて少なくなっている。 8月に入ったあたりから、自分の周りに（知人・友人の関係者等）失業者が多くなった。

(4) 県南地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良くなっている	企業	製造業(非鉄金属)	3か月前の4月から6月は、新型コロナウイルスの影響で生産が大きく落ち込んだため、その頃と比較すれば良くなっている。	
		建設業	今までなら、今月は土浦花火大会関係の工事などが入っていて忙しい時期である。今年は開催されないのが暇かと思ったら、なぜか昨年以上に忙しい。3か月前と比べても工事受注が多くなるのは毎年のことなのだが、今月はかなりの受注がある。	
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの流行直前と比較して、人の動きが多少活発になってきており、景気はやや上昇傾向だと思う。また、一時的なまとめ買いも落ち着いてきているが、その分コンビニエンスストアでの買い物の幅が広がってきている。	
		小売業	緊急事態宣言解除直後との対比であり、夏休みの短縮やお盆帰省の自粛もあり、緩やかな回復にとどまっていると思われる。	
		洋食食堂	予約状況から判断している。法事、家族のイベント、久しぶりの友人との少人数による会食等が少しずつ入ってきた。	
		都市型ホテル	売上げについて今月の見込売上額と3か月前の売上額を比較すると、今月の見込額がやや良くなっているため、6月との比較で景気はやや良くなっていると判断できる。しかし、新型コロナウイルス次第である。	
		タクシー運転手	企業が動き始め、平日の送迎の量が4割程度戻ってきているが、以前の水準までは戻っていない状況。	
		タクシー会社	客数が増えてきた。	
		サービスエリア	新型コロナウイルス感染予防のための措置が軽減されたことにより、職業ドライバー及び家族連れ等普通車による利用が増加傾向にある。ただし、相変わらず観光バスの利用はほとんど見られないことから、観光シーズンの前年割れは大きい。	
		テーマパーク職員	緊急事態宣言後、新型コロナウイルスによるコロナ禍での生活様式の変化に伴い、アウトドアという分野に関して注目が集まるとともに、屋外での活動を余暇に取り入れる方が多くなっている。当施設でも、来場者や問い合わせが増えている傾向にある。	
		ボウリング場	対前年比でみると遠く及ばないが、3か月前との比較では「ウィズコロナ」に慣れてきたのか客足が増えた。	
		企業	製造業(飲料)	3か月前が悪すぎた。
製造業(印刷・同関連業)	4月、5月頃には中止や規模の縮小となっていた公的団体の事業、行事などが徐々に実施や自粛緩和の動きがでてきた。			
製造業(その他)	3か月前は新型コロナウイルスの影響を受け、なかなか受注がなかったが、今現在は新型コロナウイルス前の受注に戻りつつある。			
雇用	求人広告	売上げについて、今月の前年比と3か月前(6月)の前年比を比べると、今月の前年比の伸び率がやや良くなっているため、景気はどん底の状態からやや良くなっていると感じる。		
	公共職業安定所	有効求人倍率は3か月前より僅かながら上昇している。		
変わらない	家計	スーパー	対前年比の伸びが変わっていない。	
		スーパー	新型コロナウイルスの影響で客数減、客単価アップの傾向は続いており、この状況はしばらく続くと思われる。	
		農産物直売所	客数、売上げが昨対比と変わらない。	
		衣料品販売店	衣料品販売店なので、季節要因を除くと判断できない。売上げでいえば、前年と比べるとほぼ変わらない。	
		都市型ホテル	新型コロナウイルスの影響で3か月前から非常に悪い。秋口になって多少客足は戻りつつあるが、前年に比べれば60%の稼働といったところ。	
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響が続いているため、全く変わらない。	
		ゴルフ場	新型コロナウイルスの影響で、来場者は3か月前と比べると増えてはいる。ただ、プレーに来て使っていく単価は変わらない。レストランでの客単価も少ないし、パーティ等も簡単に済ませるといった感じである。景気は変わらないと思われる。	
		理・美容店	来店サイクルが伸びている客が多い。イベント事がないので美容意識が低い。	
		企業	農業関係者	9月期(初旬まで)の来店客数・客単価を6月期と比較すると、両者ともほぼ変わりはない。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。
			製造業(食料品)	大口の客は回復しているが、その他の客は注文数が変わらないか、または下がっている。全体で見ると変わらない。
製造業(窯業・土石製品)	仕事量が変わらない。			
製造業(一般機械器具)	新型コロナウイルスの影響もなく、事業が継続されている。			
建設業	新型コロナウイルスの影響でまだまだ厳しい状況と思われる。			
金融業	新型コロナウイルス感染症の拡大による第2波の影響で外出を控える動きに加え、長雨等の天候不順により個人消費にはブレーキがかかっており、また、企業の設備投資も警戒心から停滞感が強く、売上げ、収益ともに改善に至っていない企業が多い。			
雇用	学校就業関係者	業務の関係から、企業の採用状況で判断することになるが、3か月前と変わらず採用がある。		
	求人開拓員	企業の求人状況に大きな変動が無かった。		

やや悪くなっている	家計	スーパー	新型コロナウイルスの影響により、やや悪くなっている。	
		家電販売店	隣の店が撤退し、客数が減った。	
		スーパー	新型コロナウイルスによる特需はまだあるが、以前よりは必要以上の買い物をしなくなったと感じる。	
		小売業（生花店）	ホテルの結婚式等の仕事がない状態が継続しており、2店舗を閉鎖した。胡蝶蘭などの高額商品需要が前回より1割程度減っている。	
		小売業（米穀）	毎年この時期には新米等の発送等が多くあるのだが、それがかなり少ない。	
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響により駅利用者の減少及び夜の飲食店関係利用者の減少が続いている。	
		ゴルフ場	新型コロナウイルスによる感染の恐れから、単価の高いゲストが減ってしまった。	
		レジャー施設	3か月前と比較して平均来場者数が減少している。	
		設計事務所	新型コロナウイルスの影響と思われる景気の閉塞感から、引き合い数、契約件数が鈍化している。	
		企業	農業関係者	休日の車の台数が極端に減っている。観光地に行っても人の姿がまばらである。
製造業（窯業・土石製品）	仕事において、受注が鈍ってきている。			
製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスの影響はさほどないが、猛暑による稼働率の低下がみられる。			
不動産業	来店者数、インターネット問合せ数、契約者数共に低調である。			
建設業	3か月前に比べて、客からの相談、引き合いが減っている。			
運輸業（倉庫業）	新型コロナウイルスの影響でアルコール関係の入出荷が9月は減少方向に進むと思われたが、3か月前と比較してやや上向きになっている。しかし、全体的には落ち込みが多い。特に運輸関係は厳しい状況にあり、回復する兆しが無い。			
悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの影響や消費税の増税で悪くなっていると判断した。	
		家電販売店	新型コロナウイルスに係る給付金などがあった3か月前と比較すると、家電の購買意欲は大きく下がっている。	
		日本料理店	3か月前は休業していた。9月10日現在は前年度比70%減。	
		寿司店	昼間来る客がほとんど来なくなった。私自身も歳だが、亡くなる方が多くて残念。新型コロナウイルスも関係しているのだろうか。	
		都市型ホテル	新型コロナウイルスの影響で宿泊稼働率が30%。レストランもソーシャルディスタンスで席数の減もあり、宴会もパーティも全くなし。ウェディングも日延やキャンセルで全くなかった。少人数のWeb講演会のみ。弁当・サンドウィッチでの宴会対応なので非常に厳しく、景気は悪くなっている。	
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの回復のめどが立たない。	
		理・美容店	新型コロナウイルスの影響による景気悪化はもうどうしようもない。誰が悪い訳でもないのだから、仕方がない。	
		企業	製造業（食料品）	新型コロナウイルスの影響で人の往来が少なく、客足が落ちている。
			不動産業	新型コロナウイルスによる影響が多方面で出ている。
		雇用	民間職業紹介業	取引先の業績不振がある。

(5) 県西地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	食堂	3か月前は新型コロナウイルスによる自粛により人の動きがかなり抑えられていたが、今は自粛前にだいぶ戻って来ている。
	雇用	人材派遣業	会社からの求人が多く出てきた。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	新型コロナウイルスによるコロナ禍での新しい生活スタイルに加え、一部新型コロナウイルス流行前と同じ生活環境に戻っている人で複合的になってきており、かつ、週末の動きも戻りつつあることから、コンビニエンスストアにおいては、3か月前よりは若干改善していると思われる。
		衣料品販売店	注意は必要だが、外出する人が増えている様子なので、少しは良くなっているのではないかと思う。
		自動車販売店	新規の来店客数も販売台数も上昇してきている。
		ゴルフ場	会食率や購買意欲が上がってきている。また、ゴルファーにとって、ゴルフは密にならないという認知がされてきているように感じる。
		レジャー施設	新型コロナウイルスの最悪な状況からは徐々に回復している感じがある。来館者数も9月の連休は多く、ようやく人の流れが動き出した感じがある。
		理・美容店	4月、5月の落ち込みが大きかった分の反動で良くなってきた。
	企業	商店街代表者	政府による特別定額給付金の効果が出ており、外出自粛の影響を受けた3か月前と比較すると景気はやや上向いている。新型コロナウイルスの影響により、各種の行事が中止となっているが、シルバーウィークの人手の動きを見ると、GoToトラベルのキャンペーンの効果が見え始まり、観光に出かける人々が増えているように見受けられる。
		製造業（非鉄金属）	製品の販売量が増えはじめた。6月は販売量が少ないために休業を行い、6割程度だったが、9月は9割程度まで回復している。国内の需要が多くなった訳ではなく、輸入されていた製品価格が高いのが原因。
		製造業（化学工業）	新型コロナウイルスの影響を受けない分野の製品（電子材料）で受注が増加している。
	雇用	建設業	今月の前年比と3か月前の前年比を比べると、今月の前年比がやや良くなっているのではと判断した。
人材派遣業		休業する客がいなくなり、時間外労働も出始めた。仕事の依頼も若干ではあるが増えている。	
変わらない	家計	求人開拓員	一部の製造業の事業所の採用担当者から、最近仕事が増えているという声も聞いている。また、ハローワークの求人票も、一時の落ち込みからは回復している様子が窺える。
		コンビニエンスストア	客数が減っているが、客単価が上がっている。
		農産物直売所	店舗としての売上高は伸びているが、個人客ばかりで業者（飲食店）の購入は依然として低調。
		小売業（酒類）	上向いている感じは全くなく、例年に比べるとイベント等が全くないので下向きだが、3か月前との比較であれば横ばい。
		日本料理店	良くなったり悪くなったりの繰り返しで総合的に変わらない。
		旅行会社	新型コロナウイルスの先が見えてこないと変わりようがない。
		旅行代理店	仕事が全くない。3か月前と比べても変わらないと言える。例え、予定して客をお誘いしても、新型コロナウイルスで三密だから行かない、新型コロナウイルスにかかったら大変だから行くのは止めておくと言われて困っている。
		タクシー運転手	午前から午後にかけて、中高年の人を中心に病院へ送る人の需要が多く、結構そこその数字が上がって助かっている。しかし、夜に関してははまだ飲食店に元気がないのが気にかかる。仕事のある店はほとんど常連ばかり。新規の客はなかなか増えないのが現状のようである。
		タクシー運転手	前回と同じで、新型コロナウイルスにおけるコロナショックがまだまだ続きそうな感じがする。
		ドライブイン	新型コロナウイルスによるコロナ禍の中、観光目的の来店客は回復しておらず、厳しい状況に変わりはない。特に、飲食部門の回復は更に厳しいと言える。
企業	設計事務所	新型コロナウイルスの影響が会社関係の設備投資にまだ出ていない。	
	製造業（窯業・土石製品）	6～7月については売上げ及び受注数の減少も5%に満たなかったが、8月からは約45%前後の大幅減少となっている。	
	製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスの影響が依然として続いており、景気は悪いままである。	
	製造業（印刷・同関連業）	新型コロナウイルスの影響でイベントや研究会の中止等が続いており、景気が回復する兆しがない。	
	製造業（金属製品）	主力の得意先2社の発注量がほとんど変化なく、毎日忙しく作業を行っている。	
	製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスの影響による作業量減は継続しており、人員調整（減員）の状況が継続している。	
	建設業	特に変化を感じない。	
雇用	金融業	客足は徐々に回復している様子ではあるが、3か月前の売上げと比較するとあまり変化がみられない状況である。	
	学校就業関係者	新型コロナウイルスの影響は大きい。企業に関しては、技術職への求人が多く、人手不足を感じる。	

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	当店に限っていえば、まだまだ回復にはほど遠い。
		スーパー	新型コロナウイルスでまとめ買いの需要があったが、最近は外出自体を控える動きがあり、かなり敏感になっている感じがする。
		スーパー	客の購買行動が低価格品に変わってきている。
		家電販売店	前年売上げ進捗で、3か月前の方が良好である。
		ドライブイン	趣向品の販売数が減少している。
		ゴルフ場	新型コロナウイルスの影響がある。
		設計事務所	自治体の業務発注数が減っている。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	受注残が減少している。
		製造業（金属製品）	取引数がやや少ない。
		不動産業	生活保護受給者が増加している。
サービス業（コンサルタント業）		新型コロナウイルスの影響がある。	
雇用	求人広告	採用できる企業数が減っている。また、求人を出してもすぐ応募が集まる傾向がある。雇用情勢は非常に厳しいと感じる。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	来店客数が大きく減少。猛暑、新型コロナウイルスによるコロナ禍の影響だろうか。
		製茶販売	生活は前と変わらず一日三食、衣類も安物を購入。しかし、収入は減少している。今の生活もいつまで続けていられるか。
		レストラン	新型コロナウイルスによるコロナ禍において、客数の減少やグループ客、家族客の減少等、新型コロナウイルスの終息が見えない限り、客の増加は見込めない。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスによる来店客数の減少。
		クリーニング店	新型コロナウイルスの感染拡大により、外出などを自粛して出費を控えている。
	企業	畜産業関係者	営業電話などから、悪くなっていると判断した。
		製造業（窯業・土石製品）	今回の新型コロナウイルスによる当社への影響は、今年1月～3月まではむしろ忙しい状況だったが、中国が収束に向かう一方で日本が感染拡大したため、今最も受注が取れない環境下に置かれているのが現実である。中国の石材加工メーカーと競争競合している限り、この状況は新型コロナウイルス収束後も続く。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	ラーメン店	去年からみて大きく落ちた景気は、金融機関の資金借入などの影響もあり、押し戻す波が徐々に出てきている。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	受注している物件の納入時期を迎える。
		小売業（燃料）	新型コロナウイルス感染症が落ち着けば、さらに回復すると思われる。
		小売業（時計）	全体的に外出する機会が多くなっているため、少しずつ散財している方向にある。
		ゴルフ場	予約状況より、多少の団体客回復傾向がある。
企業	林業関係者	低迷下にあった以前よりは景気が向上すると思う。立ち止まりしていた事業工事等が動き出し流通も活発的になると思う。	
	製造業（輸送用機械器具）	従来からのマスクや手洗い等の予防を実施し、外出を避けているにもかかわらず感染してしまうニュースが多く聞かれようになりつつある中、車販売も従来の来店による現物確認や見積・価格交渉に代わり、ネットを利用した詳細確認や見積によって人との接触をせずに事前検討が可能となる新たな環境整備が導入されつつある。一般のネット販売と同様の取組みが若者中心とした購入意欲を掻き立て、販売拡大に繋がることに期待したい。	
変わらない	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの終息状況による。
		スーパー	変わらないと思う。ひたちなか市についてはプレミアム商品券の使用があるので、現状維持すると思う。
		酒・各種商品小売業	まだ新型コロナウイルスが無くなった訳ではなく、第3波により悪くなる可能性もあるし、経済対策（GoToトラベル、GoToイート）で良くなる可能性もある。
		小売業（弁当・惣菜店）	消費は戻りつつあるとはいえ、まだ新型コロナウイルスの社会不安があり購買への戸惑いは感じられる。お祭りや運動会などのイベントが開催されるようになるまでは今のような状態かと感じている。
		小売業（水産物）	新型コロナウイルスが落ち着かない限り、景気の回復は厳しい。
		観光型ホテル	一時的には回復するかもしれないが、明確な見通しが無いので変わらない。
		旅行代理店	新型コロナウイルスの影響で、修学旅行の中止など、団体旅行が受注できない状況に変化がない。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの状況による。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響が予想できない。
		ドライブイン	新型コロナウイルスの影響が色濃く、いまだ飲食店では席数が制限され、回転が悪い。換気に伴いエアコンの効きが悪く、厨房も客席も暑くて、フードコートで軽食を買い車内で食べる人が多い。長期にウィズコロナな対応を現場で季節ごとに工夫、対処しているかと頑張っているが、やはり疲れている。
		レジャー施設	新型コロナウイルスがどのような状況で推移するか不透明なことが大きな要因。併せて、総理大臣が変わり、今後の政府の施策が明確でないため、正直どのようなのか予想ができない。
		ゴルフ場	対前年比の9～12月の予約の流れと比較して、横ばい状況を示している。
		企業	製造業（電気機械器具）
製造業（食料品）	秋冬に向かい、新型コロナウイルスが終息しない。一人一人が外出などを控えるため、消費行動が抑えられる。		
製造業（化学工業）	現状が最悪であると考えている。		
製造業（電気機械器具）	生産計画でも特に変化はなく、相変わらず厳しい状況が続くと思われる。		
製造業（精密機器）	新型コロナウイルスの影響で見通しが立たない。少しずつ上がってきているが、60%位である。		
金融業	新型コロナウイルスの影響は長期化が見込まれると予測している客が多いため、今後3か月先の景気は変わらないものと思われる。		
不動産業	新型コロナウイルス感染予防対策が続く限り、以前の姿には戻らない。経済活動として人が制限なく動きを見せる段階に戻らない限り、景気への影響は続く。		
雇用	公共職業安定所	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、自動車などの販売不振により生産が下がった（中国での販売は持ち直してきている）。その他の産業でも輸出減少や消費の低迷が続いているため、今のような状況が続くと思われる。	
	求人开拓員	現在の来所者はパート希望の主婦層や高齢者が多く、今後についても、この構成は変わらないと思う。	

やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	新型コロナウイルスによるコロナ禍の影響から、建築関係の業種の客は、今年度後半の仕事が少ないと聞いている。今年度後半から、影響が出てくる業種も少なくなっていくと思う。
		衣料品販売店	新型コロナウイルスが終息しなければ良くならない。
		自動車販売店	新型コロナウイルスの感染状況が好転するとは考えにくく、また経済活動が活発化されなければ、ますます消費者の購買意欲が低下すると考えられる。
		小売業（酒類）	日立市が実施する「ひたちのまちでお買い物」事業に参加しているが、割引限度額が決まっているため、終了後は期待は持てない。
		観光型ホテル	予約状況から鑑みると、客の動きが鈍く、状況が良くなるとは見込めない。
		観光型ホテル	今後3か月先についても、団体宿泊、日帰り宴会が見込めない状況であり、景気はやや悪くなっていると判断する。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの患者数も、一進一退を繰り返している現状、ワクチン等の早めの接種ができない限り、景気の上向きは期待できない。
		タクシー運転手	理由はいろいろである。
		ゴルフ場	GoToキャンペーンが始まっても宿泊人数が特に増えた訳でもないことや、会社自体がまだ雇用調整をしていることから、やや悪くなっていると判断する。
		ボウリング場	年末の時期に実施予定だった団体客から、新型コロナウイルスを理由としたキャンセルの連絡が相次いで入っている。今後もキャンセルが見込まれる上、新型コロナウイルスの状況によっては悪化する恐れもあり、景気の先行きは明るくないと予想する。
		写真店	新型コロナウイルスによる感染が身近で起きていて、収束する見込みがない不安と現状により、景気はやや悪くなると思う。
		企業	水産業関係者
製造業（食料品）	基幹産業の減速による影響が市場にも出る時期である。		
製造業（電気機械器具）	発電所納品関係での建設業の作業員不足や、部品入荷遅れ等での納入時期の遅れが起きている。		
製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスの影響で売上げの減少が予想される。		
建設業	客との会話では、新型コロナウイルスの影響により様々な分野の活動が停滞しており、この状況は長期化するとの見方が多い。このようなことから、現在は横ばいでも先行き不安は大きいので景気は悪くなると思う。		
運輸業	新型コロナウイルスにより、顧客製品の出荷台数に影響が出ている。先の見通しが分からない状況である。		
情報通信業（情報サービス業）	新型コロナウイルスによるコロナ禍の収束にはまだ時間かかりそうで、時間が延びるほど業界の状況が厳しくなっていくと思われる。		
雇用	求人広告	新型コロナウイルスの不安やそれを煽る状況が改善されない限り厳しい。	
悪くなっている	家計	スーパー	新型コロナウイルスの影響度合いに比例すると思うが、各所で本来の生活動向を取り戻すことができずに、景気低迷は続くと思われる。逆に、現在の状況下で景気が良くなる要素が見つからない。
		スーパー	スーパーは新型コロナウイルスの影響で売上げが上昇しているが、他業種ではかなり売上げが減少しているとの話を聞く。今後、客の買い物に変化があると思う。必需品にかかる費用の節約へと進む。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの影響が鮮明になってくるのではないかと。
		スナック	先行きが見通せない。
		写真店	新型コロナウイルスが落ち着かないと通常の行事が行われない。



(2) 県央地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント	
やや良くなっている	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスに対する考え方も少しずつ変化しているような気がする。感染を恐れるだけでなく「ウィズコロナ」の観点から、経済の立て直しを図っていこうという雰囲気が広がっていると思う。	
		小売業	新型コロナウイルスは現状よりは回復していると思われ、年末に向けて消費マインドが回復していくと想定。新内閣による行政改革への期待がある。	
		自動車販売店	メーカー施策、新型車投入によりこの状況はしばらく続くと予想する。	
		楽器販売	正直、新型コロナウイルスによるコロナ禍の中で、教室事業は足掛け3か月はまっとうな稼働が出来なかった。銀行との打ち合わせでも、年内7割まで回復すれば御の字との見解だったが、8月にはほぼ9割の生徒に戻ってもらうことができた。音楽教育は余裕のある時しか振り向いて貰えないと思っていた中で、逆にこのような時だから音楽で癒されているとの声を聞き、私たちが思うより音楽は愛されていることを再確認できた。販売はまだまだ厳しいが、進め方を再考していけばまだまだ伸びしろはあると感じた。	
		レストラン	GoToトラベルやGoToイートでやや良くなっていると判断する。	
		割烹料理店	例年のような忘年会は望めないが、今年よりは良くなることを願う。	
		都市型ホテル	徐々に回復に向かっていく予感はあるが、今年の冬の新型コロナウイルスの感染拡大状況により忘年会・新年会の自粛も懸念され、先行きは不透明な状況である。	
		都市型ホテル	現在の予約状況を見て、若干回復すると期待も込め予測しているが、大きく伸びることはなく、やはり人数の多い宴会等は動いていない。	
		旅行代理店	ニューノーマルの生活が定着し、それに合わせて経済活動が徐々に戻ってくると思われる。	
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの終息を望むだけである。現在が最低な状態なので、これ以上は悪くならないと思う。	
		タクシー会社	県の大工町の安全宣言や東京の飲食店の時短解除等、イメージ的に上向きとなっている中で利用者の増加が見込まれる。	
		タクシー会社	現状の景気動向や人の流れから判断して上昇傾向にあると考える。首都圏からの人の流れは減少からやや上昇と思われるが、県内の人の流れは多少活発化すると判断する。営業収益も60%程度まで回復すると期待している。	
		観光名所	今現在、GoToキャンペーンや地域共通クーポンの取り扱いの問い合わせが多く、利用者が増えることが見込まれる。	
		ペット美容室	3か月後は年末になるので、12月はもっとも繁忙期になる。	
		設計事務所	新型コロナウイルスによるコロナ禍が減少に転じると思うので、店舗等のリフォーム設計や建築に着手することが増えると思う。	
企業	製造業（窯業・土石製品）	見積り依頼も少しずつではあるが増えてきているので、今よりは多少良くなると思う。		
雇用	求人開拓員	当所利用の求職者数がここ直近で増加に転じた感じもあり、真偽の判断は今しばらくの注視が必要であるが、雇用環境を総合的に考えるとやや悪化の可能性が強いものと考えられる。		
変わらない	家計	小売業	まだまだ先行き不透明であり、全く分からない。	
		小売業	新型コロナウイルスの影響度で大きく変わると思われる。特効薬ができれば上向きになるが、逆に寒くなって猛威となり、その上インフルエンザまで流行となると更に厳しくなる。現状のままということならあまり変化はないと思われる。	
		スーパー	今の状況では、新型コロナウイルス次第であり、先が読めない。	
		家電量販店	新型コロナウイルスの状況により近隣で感染者等が多くなると変わるが、今年の3月からの流れをみると、大きな影響はないと見る。	
		小売業	冬を迎え、新型コロナウイルスの影響がどうなるか心配である。	
		農産物直売所	新型コロナウイルスが終息しない限り、現在と同じで家庭消費の買い物増、飲食店仕入れ用買い物減は同じだと思われる。	
		レストラン	新型コロナウイルスのワクチンができなければ変わっていかないし、秋から冬に向かいインフルエンザなども心配される。景気回復はまだまだ先にしか見えない。	
		バス運転手	感染症に対するワクチンや薬が開発されない限り、消費者側、サービスを提供する側とも自粛が続き、飛躍的な改善は見込めない。	
		レジャー施設	新型コロナウイルス対策において、ワクチン開発等の有効な対策が実現しない限りはまだ状況は変わらないと考える。	
		レジャー施設	この先の新型コロナウイルス感染状況に影響されると思われるが、現状より蔓延状況の悪化がなく、収束に向かっていくのであれば、徐々に回復していくものと考えられる。	
		理・美容店	まだしばらくは今の状態が続くように思う。	
		企業	製造業（食料品）	外食やレジャー施設への休業要請がかからなければ、現在のような状況が続いていると予測する。
			製造業（印刷・同関連業）	新型コロナウイルスの影響はまだまだ続くと思われる。
			製造業（一般機械器具）	大手は仕事量の減少により内製化にシフトし、中小企業に仕事が出てこない。新型コロナウイルス対策で企業に訪問できず、担当者がテレワークなど営業活動に制限があり打合せが進まず受注できない。
			建設業	先が見えない。
運輸業（道路貨物運送業）	新型コロナウイルスの収束の見込みが立たないので、企業活動も生産調整等が続くと思われる。			
金融業	新型コロナウイルスの影響が思った以上に深く、簡単に戻るとは考えられない。ワクチンを含め、特効薬ができるまではこの状態が続くと思われる。			
不動産業	新型コロナウイルスの影響も落ち着いてきており、大きく悪くなる要因はない。			
建設業	資金がある人はリフォーム等を考え、資金を出さない人は少しの間様子を見るという状況になっている。			
サービス業（コンサルタント業）	6か月先まで受注が見えている。			
雇用	公共職業安定所	全産業における求人数が対前年同月比でマイナスとなっている。新型コロナウイルスの影響が企業における業績悪化の要因となっている。		

やや悪くなっている	家計	スーパー	新型コロナウイルスの影響で、他業態の状態からみて、行動範囲が狭くなっている。
		スーパー	客の収入減が続くため、やや悪くなっていると判断する。
		スーパー	新型コロナウイルスが拡大している状況下では悪くはなっても、そう簡単に良くはならないと思われる。
		観光型ホテル	国や県、地元自治体などの政策により個人客は動いてきている。しかし、この時期の大きなウェイトを占める年末年始の団体客はほとんど動かない状況。
		スパ・銭湯	新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見えていない中、インフルエンザの時期がくることによりさらに閉塞感が漂い、やや悪くなってくるのではないかと思慮している。
企業	製造業(食料品)	GoToキャンペーン等で少し改善されると期待している。	
	製造業(印刷・同関連業)	新型コロナウイルスが落ち着いたとしても、以前の状況に戻ることが考えられない。また、仕事量の減少に伴い価格の下落が続いている。	
	製造業(精密機械器具)	やはり、新型コロナウイルスによるコロナ禍の影響はじわじわと営業数字となって出始まっている。今期の数字は何とかなりそうだが、来期4月以降はかなり厳しい状況になるものと思われる。	
雇用	人材派遣業	今後も売上減少は続くと思われる。	
	学校就業関係者	新しい生活様式のもと様々な不安のある中で前に進もうとしているが、第2波、第3波の懸念による自粛ムードからの脱却には相応の時間が必要ではないかと感じる。	
悪くなっている	家計	割烹料理店	新型コロナウイルスの対策で外出自粛のようなことが流布されている。
		レストラン	新型コロナウイルスの感染拡大や、年末賞与の支給がない企業が増える可能性があり、消費が減少する。
		旅行会社	新型コロナウイルスのワクチンでもできなければ、変わらないか悪くなっているだろう。
		観光名所	この先も今の状況と変わらないと思う。
		設計事務所	新型コロナウイルスによる自粛で社会が止まっている。衣・食のみならず、これからは住へも影響がありそうである。
企業	製造業(金属製品)	物件数の減少に伴い、単価も著しく下落した。しばらくは改善する見込みはなさそうである。	
	工務店	現状より好転する材料が見当たらない。	
雇用	求人広告	さらなる個人消費の落ち込みが続くと思う。	

(3) 鹿行地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	家計	小売業（菓子類）	国の様々な景気回復対策によって経済活動が活発化する。	
		小売業	宅配便を使った商品の売り上げは増えているので、年末は期待したい。	
やや良くなっている	家計	観光型ホテル	新型コロナウイルスの感染拡大によっては今後どうなるかはわからないが、現状では、このまま行けば今後3か月先、少しずつ景気が良くなっていくと判断する。	
		旅行代理店	GoToキャンペーンの割引があるうちは、少しずつ予約が入る。	
		ゴルフ場	新型コロナウイルスの状況にもよるが、コンペ需要が戻るのであれば景気はやや良くなっていると思われる。	
	企業	製造業（鉄鋼業）	自動車部品関係は減少傾向にあるが、今後建築部品等は多少増えてくると思われる。	
		製造業（電気機械器具）	10月、11月と新規の受注案件の生産が開始される予定なので、現在増員を計画している。	
		運輸業（道路貨物運送業）	一般の客の荷物は増加している。	
		不動産業	季節感を除いてとのことだが、自然界での営みが人間社会であり、一年の間でもやはり年末等を控えて考えれば、皆その辺りは最終月に向けての頑張りもあると思う。	
	雇用	民間職業紹介業	地域全体として、生産量が若干ではあるが増えてきている。年末に向けて増産傾向にある様子が見えている。	
		公共職業安定所	新型コロナウイルスがそのまま抑えられている状況が必要である。	
	変わらない	家計	商店街代表者	秋から冬にかけて再度、新型コロナウイルスやインフルエンザも徐々に増えてくると考えると、事業活動や消費の低迷はまだ続いていくのではと思う。事業者や消費者も給付金などの貯えも徐々に減ってくる時期になるのではないだろうか。まだまだ厳しい状況に変わりはないと思う。
スーパー			新型コロナウイルスによるコロナ禍の状況はまだまだ続きそうである。	
コンビニエンスストア			新型コロナウイルスが流行してから、継続的に客数の前年割れが続いている。特に、朝帯、夜帯の前年割れが大きく、全てのコンビニエンスストアがこのような状態であることから、今の状況はしばらく続くと考える。	
家電販売店			客数減少の傾向が引き続きと思われるが、大幅な売上げ減少には至らないと予想する。	
農産物直売所			良くなる要素がない。	
農産物直売所			新型コロナウイルスの新薬が開発されない限り、客数は増えないと思う。また、イベント等の集客ができない。	
小売業（薬品店）			新型コロナウイルス関連の商品の売上げは、今後も大きくは変わらないと思われる。	
小売業（薬品店）			ともかく新型コロナウイルスが収束しないと患者が増えるとは思えない。インフルエンザと重なるとどうなるのか想像もつかない。	
小売業（書店）			巣ごもり需要で悪くはならないと思うが、良くもならないと思う。	
和食レストラン			新型コロナウイルスによるコロナ禍の影響がいつまで続くか不透明であり、テイクアウト弁当やインターネット販売では前年売上をカバーできない。来店客は戻りつつあるが今後も当月程度で推移する見込み。今後の年末に向けたおせち料理の販売が鍵となる予想。	
洋食食堂			「変わらない」というより「わからない」の方が正しいと思う。新型コロナウイルスがどのようになるのか、終息を願うばかりである。	
観光型ホテル			新型コロナウイルスの関係があるのではないかと。	
ドライブイン			新型コロナウイルスによるコロナ禍が続いている。	
ゴルフ場			新型コロナウイルス感染症の治癒が確立しておらず、先行き不安なため、消費行動はあまり変化がないと思われる。	
レジャー施設			長い自粛生活により生活習慣が変わった。7月から営業を再開したが、8月、9月になっても客数の減少率は変わらない。	
クリーニング店			花火大会、会合、運動会（午前中）、法事などのイベントが中止になり、今すぐには前のようにするのは難しい。	
企業			製造業（化学工業）	新型コロナウイルスによるコロナ禍の影響で需要減を映じて減産の動きが見られたが、その後は横ばいの状態が続くと思われるため、景気は変わらないと思う。
			製造業（食料品）	新型コロナウイルスのワクチン開発が進まなければ、当面の景気低迷は避けられない。
			製造業（ゴム製品）	新型コロナウイルスの状況から、変わらないと判断する。
	製造業（鉄鋼業）	経営環境が急速に改善する状況にはないと感じる。		
	製造業（金属製品）	全産業（他業種）に渡った業績回復には、時間がかかると思える。		
	建設業	先行きが見通せない。		
	運輸業（道路貨物運送業）	現状の動向から、回復はもう少し時間がかかると思う。		
	金融業	ウィズコロナにより具体的な感染対策と予防を取れば感染リスクが軽減されるということは浸透してきている。しかし、大方の経営者からはワクチンが出来るまでは今の状態から回復するのは難しいのではないかと多くの意見が多い。		
	不動産業	新型コロナウイルスが影響している業種は、このままいくと冬のボーナスは50%減、70%減または0%と大変なことである。また、従業員の方も大変だ。一応当社は前年と同じ位はボーナスを支払う予定である。		
	火力発電所	好転する材料が見当たらない。		

やや悪くなっている	家計	スーパー	昨年10月からのキャッシュレス5%還元事業により売上げが増加したことに対する反動減が予測される。また、新型コロナウイルスによるコロナ禍により、景気の落ち込みと所得減少の影響で売上げが減少することが懸念される。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの影響で、仕事の減少など、周囲の企業からあまり良い話を聞かない。
		衣料品販売店	実店舗とは別に比較的安定していたネット販売の売上げが下がってきた。
		割烹料理店	3か月後は忘年会の時期になるが、この様子では多人数の予約はないだろうし、上向きになるのは考えられない。
		日本料理店	コロナに対するワクチンができないと、このままずるずる悪くなると思う。一度急激に下がった物は今回の株価の様にはいかないと思う。
		運転代行	先が見えない。どうしたら良いのかわからない。
		理・美容店	あまり良くなるような感じはしていない。
		住宅販売会社	商談があっても、成約・受注残がまだ少ないので、11月着工以降が不安である。
		住宅販売会社	新型コロナウイルスによるコロナ禍で収入が減り、より家賃の安い物件へ客が流れると思う。
	企業	農業関係者	新型コロナウイルスの感染拡大が続く限り、人の移動が制限され、消費者の買い控えが続くと予想される中で、農産物の消費も一定の影響があると予想される。
製造業（食料品）		ワクチンができ投与して収束しても、経済の復活なくして、元に戻ることはあり得ない。	
保険業		1等越光米値が1俵12,500円で、前年より安い。	
雇用	学校就業関係者	企業からの求人希望の問合せの電話が減っている。	
悪くなっている	家計	小売業（食品）	新型コロナウイルスの影響もあり、物流の動きも悪い。
		タクシー運転手	画一的なワクチンの普及がない場合、これから寒く乾燥する時季になるので、再び新型コロナウイルスの感染者が増加するとより一層景況感は悪くなると思う。
	企業	建設業	新型コロナウイルスによるコロナ禍で、家を建てようとする人は減っていくと思われる。
	雇用	求人開拓員	これから先、事業所の倒産件数は今現在より確実に増えるだろうし、事実自分が仕事や個人的にかかわっている事業所が店仕舞いの準備をしている所がある。

(4) 県南地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良くなっている	家計	コンビニエンスストア	エリアによると思うが、身近な商圈を確認している限りでは良くなってきている。今まで外食で食事を済ませていた人が、自宅で食事をする機会が増えたことにより、コンビニエンスストアの売上げは上昇すると思われる。	
		洋食食堂	新型コロナウイルスとの生活様式に慣れてきて地域に感染者がでなければ、良くなってくる。自分もそうだが、美味しい食事を楽しみ、どこかに出掛けたい気持ちがある限り、少しずつ回復するのではと考えている。	
		テーマパーク職員	アウトドアに注目が集まっている傾向にある。また、団体での利用（学校関係の旅行・校外学習）など秋の紅葉シーズンに向けて予約、問い合わせが増えてきている。世の中の景気と差異はあるが、当施設単体で判断すると、例年の同時期に比べ、景気は良くなってきているように感じる。	
やや良くなっている	家計	小売業	政府の社会経済を停滞させない政策が続く限り、消費動向も僅かながらの改善の方向に向かうと思われる。	
		タクシー運転手	新型コロナの終息は見込めないが、近隣の企業の動向としては動き始めているところがほとんどなので、以前の水準の6割くらいは見込めるのではないかと考えている。	
	企業	製造業（その他）	新規取引先を開拓し、うまく受注が取れば良くなっていくのではないかと感じる。	
		製造業（窯業・土石製品）	猛暑や新型コロナウイルスの感染拡大も一段落し、やや持ち直すと思われる。	
		製造業（非鉄金属）	底は脱した感はあるが、新型コロナウイルスの収束が見込めるかどうかは鍵となっている。	
	雇用	建設業	年末になって工事受注が増えるのは毎年のことである。しかし、先月新しい販路（町営住宅修繕）を開拓したこともあり、3か月後の景気は今よりやや良くなっていると思う。	
		求人広告	これまで抑えてきた消費が、積極的に行われはじめていると感じる。ここ数週間で少しずつ、受注件数や客単価がやや上がってきたように感じる。	
		公共職業安定所	緊急事態宣言が解除されてから休業日が減少し、少しずつ回復しているとの回答が多い。ただし、回復せずに今後さらに仕事が減少する可能性が大きいとの回答も少なくはない。	
	変わらない	家計	求人開拓員	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が浸透し、人の移動が始まり、企業の求人が期待できそうである。
			家電販売店	必需品のため、買い替えなどがあり極端に悪くなるとは考えにくい。
スーパー			新型コロナウイルス次第で変化する。	
スーパー			外出、外食、帰省の自粛は続いていると思う。新型コロナウイルスに感染の心配がある限り、景気は良くなると思えない。	
衣料品販売店			衣料品販売店なので、季節要因を除くと判断できない。	
都市型ホテル			新型コロナウイルスの感染が収まらないのなら、将来の見通しは良くないと思う。良くないどころか閉店、倒産が増えるだけで全く将来性など感じられない。	
タクシー運転手			夜の店の需要が増えないと変わらないと思う。	
タクシー運転手			新型コロナウイルスの収束が見えない。また、収入の減少も予想され、外出を控えるのではないかと感じる。	
タクシー運転手			新型コロナウイルスが収まらないかぎり、変わらないと思う。	
サービスエリア			平時の利用は徐々に回復しているようにも思えるが、今後秋の行楽シーズンや年末年始といった観光シーズンの利用がどこまで伸びるか未知数である。	
ゴルフ場			新型コロナウイルスが収束しないと、ゲストの自粛ムードはなくなりそうにない。	
ゴルフ場			新型コロナウイルスの影響で、やはりコンペ等もなかなか決められない。一応予約は取っても実際行えるかわからないとか、会社のコンペ等も自粛になるかもというものが多いため。	
レジャー施設		特に良くなる兆しは見られない。		
企業	農業関係者	今年度においては、新型コロナウイルスの影響が多大であり、例年との比較は困難である。今後の予測もどう変わるのか分からない。		
	製造業（食料品）	新型コロナウイルスが減少しなければ来店客が望めない。		
	製造業（飲料）	予想がつかない。		
	製造業（一般機械器具）	変わるような材料がない。		
	不動産業	今月より良くなっていく見通しが無い。		
	運輸業（倉庫業）	新型コロナウイルスは今後収束しないと思われるので、物流倉庫に関して予測はできない状況である。		
金融業	冬季に向けて更に新型コロナウイルス感染症拡大の危機感を感じ、資金手当てを行わない備えようとする企業が出て来ている。			
雇用	学校就業関係者	業務の関係から、製造業の企業を訪問することが多いが、新型コロナウイルスの影響も少なく、受注は変わらずあるようである。		

やや悪くなっている	家計	スーパー	今の状況が落ち着いて、外食産業が回復してくれば食材を扱うスーパーは現状よりは落ち着き、元の状況は戻ると思われる。
		農産物直売所	扱う商品が野菜だが全体的に作付けが悪く、3か月後の野菜の納品率が低く昨年比を下回ると予想される。
		小売業（生花店）	これから先の宴会等の需要が回復しておらず、予約が入ってこない。
		寿司店	やはり新型コロナウイルスの影響がある。
		タクシー会社	冬になると新型コロナウイルスやインフルエンザで客数が減ると思う。
		ボウリング場	まだまだ新型コロナウイルスの脅威は消えないと思うので、倒産する企業や解雇される方が増加するはずである。
		理・美容店	ボーナスがない。全体的に消費意識が低い。
		設計事務所	景気、雇用の回復および伸びが見通せない状況。
企業	製造業（窯業・土石製品）	年末までの仕事が見えてこない。	
	製造業（印刷・同関連業）	緊急事態宣言下で経済が停滞した影響が尾を引き、今後も倒産や事業を縮小する企業がまだまだ増えるのではないかと思う。	
	製造業（窯業・土石製品）	受注見通しが悪くなってきている。	
悪くなっている	家計	スーパー	新型コロナウイルスの影響により、悪くなっていくと思われる。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの影響がある。また、消費税の増税のほか、10月以降たばこ・酒類の値上げがある。
		家電販売店	前年の増税などの影響がある。
		小売業（米穀）	今期の安売り合戦が例年よりも激しい（安価）と予想する。
		日本料理店	新型コロナウイルスの影響で利益率は最大に減少の傾向になる。
		都市型ホテル	現在以上に厳しい状況になる。今現在予約を受けている忘年会・新年会のキャンセルや婚礼の少人数化、宿泊・レストランの低迷が予測され、更に悪くなっていると思える。
		都市型ホテル	今のところ、12月の見通しとして新型コロナウイルスの影響で受注していた案件が減少しており、今後の回復も見込めないため景気は悪くなっていると考え。また、冬になるとウイルスの流行も考えられるため、厳しい状況が続くと想像する。
		理・美容店	観光、飲食、エンタメ関係の方が悪くなっていると言っている。それを引き金に他の業種も悪くなると聞いている。おそらく3か月先もずっと悪くなるのではないだろうか。
企業	農業関係者	外食機会の減少に伴い、業務用需要の回復が見込めない。	
	製造業（食料品）	年末に向けてすでにイベントの中止が決まっている。イベント中止に伴い商品の発注も中止なので当然悪いと判断する。また、小口・大口の客に対しても予断を許さないで、良いと判断できない。	
	建設業	同業社の様子を聞いても、年末にかけてますます厳しくなるのではないかという人が大半である。	
	建設業	取引先からの見積依頼等がかなり少なくなっている。	
	不動産業	新型コロナウイルスによる影響はこれからの方が出るのでないか。また、冬に向けて、再度自粛強化になれば、飲食店をはじめ維持できなくなると思う。	
雇用	民間職業紹介業	景気が回復する要因がない。	

(5) 県西地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	小売業（酒類）	良くなっていて欲しいという願望。客も感染症予防を心がけながら動きたいという気持ちが出てきていると感じる。
やや良くなっている	家計	家電販売店	単価の高い商品が、年末になると大きく動く傾向もあり、客の購入単価が3か月前よりも改善しており、継続しての改善がある。
		日本料理店	新型コロナウイルスの状況が良くなればやや良くなっているし、混乱するようであれば、かなり厳しいと思う。
		食堂	多くの人が新型コロナウイルスとの付き合い方をだんだんと理解していき、今よりも少しずつだが動きが増してくるのではないかと考える。
		旅行会社	さすがにストレスの溜まった状態にも飽きてきて、年末に向かって人も動き、世の中少しは動くのではないかと考える。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスによるコロナショックがやや下火に思われる。買い物客も増加気味に思う。
		レジャー施設	一進一退を繰り返しながらも、少しずつ人の流れは回復していくのではと思われる。
雇用	人材派遣業	昨年と比較すれば低水準ではあると思うが、緊急事態宣言解除後から徐々に雇用が戻り始めている。また、一時的ではあるが、年末繁忙時期の雇用が増えることも考えられる。	
変わらない	家計	コンビニエンスストア	新型コロナウイルスとの共存という点については、ワクチンが開発されない限り生活環境が大きく変わることが考えられないため、結果的に今と比べて良くなる見込みはないと思う。
		衣料品販売店	現状維持の状態が続くのではないかと考える。
		農産物直売所	新型コロナウイルスの影響ではあるが、終息の目途がつかない限り、飲食業の需要（購入）が伸びない。
		タクシー運転手	車で乗せる客が徐々に乗り越しの人が多くなりつつあるので、いくらか上向いてくれるかもしれない。飲み屋のママを乗せてももう一つ元気がないのが気になる。
		ドライブイン	彼岸以降、外出を控える風潮がある。
		ドライブイン	GoToトラベルやGoToイートキャンペーン等、国の施策に期待したいが、景気回復までには時間が掛かると思われ、数年厳しい状況は続くと思われる。
		ゴルフ場	年内は現状維持で過度な期待はできない。新型コロナウイルスによるコロナ禍に左右されると思うが、期待を含めて変わらないと回答する。
		理・美容店	忙しい声もあるが、残業なし、場合によっては週休3日制という話もあり、後者の方が多いように思う。
	商店街代表者	新型コロナウイルスと共存する社会が当面の間続くことが予想される。新型コロナウイルス感染症が収束しない限り、景気の先行きは現状のまま推移すると予想される。	
	企業	畜産業関係者	状況が大きく変容するとは思えない。
		製造業（窯業・土石製品）	8月の売上げ及び受注数の大幅減少が、9～10月でどれほど回復するかの見通しが立たない。
		製造業（電気機械器具）	今年は新型コロナウイルスの影響により、景気はこのまま悪い状態が続くと思われる。早くワクチンができることを期待したい。
		製造業（印刷・同関連業）	新型コロナウイルスの影響で仕事の受注が低迷しており、回復の可能性がない。
製造業（非鉄金属）		新型コロナウイルスが落ち着くようなことは考えにくいことから、景気が回復するとは考えにくい。	
製造業（化学工業）		大きな変動情報がない。	
製造業（電気機械器具）		新型コロナウイルスが収束しない限りは、現状が継続すると見込んでいる。	
建設業		特に変化を感じない。	
金融業		ウィズコロナとして客も定着しつつあるものの、積極的な行動も特段見られず、今後3か月先においても変化はないものと思う。	
サービス業（コンサルタント業）	新型コロナウイルスが収束しない限り大きな変化はないと思う。		
雇用	学校就業関係者	良くなる要因がないように思われる。	
	求人開拓員	新型コロナウイルス関係での解雇や雇い止めの状況がどう変化するかわからない。	

やや悪くなっている	家計	スーパー	先が見えない状況で、業績は段々と右肩下がりになっていくと感じている。
		スーパー	景気の回復が期待できない。
		コンビニエンスストア	近くに競合店ができた。
		レストラン	新型コロナウイルスによるコロナ禍における飲食店は、感染リスクが高いと思われる現在の現状で、なかなか客数が増えないと思う。
		旅行代理店	予測が全然立たない。お金もまわらないから大変である。バスの整備点検、車検はやるしかないの経費がかかるばかりで、旅行に行く客がいない。新型コロナウイルスはマスクをして手洗い、除菌するので大丈夫だとPRしてほしい。
		ゴルフ場	新型コロナウイルスの影響がある。
		設計事務所	新型コロナウイルスの影響がアメリカからジワリと寄ってくる。
		設計事務所	発注者企業の投資控えを担当者との会話から感じとれる。
	企業	製造業（金属製品）	現在よりも下期に向けて徐々に新型コロナウイルスの影響が出てくると思われる。
		製造業（金属製品）	少しずつ新型コロナウイルスの影響が出始めている。
建設業		客単価や利益率は減少傾向にあるので、3か月先は少し悪くなると思う。	
不動産業		賃貸の客が現在の賃料より安い物件を探す傾向が続いている。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	秋、冬に期待したいが、新型コロナウイルスによるコロナ禍が落ち着かないと期待は薄い。
		商店街代表者	経済面も精神面もますます萎縮していくと思われる。
		製茶販売	客の来店はあるものの、一回の購入金額が少ない。皆、出し渋っている。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスの影響がある。
		クリーニング店	新型コロナウイルスが収束しないと、なかなか難しいと思う。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	今の最悪の状況が当たり前になることを心配、危惧している。他の業種は新型コロナウイルスが収束すればある程度もしくはそれ以上回復すると考えるが、石材加工卸業は生活必需品ではないので、景気がバブル並みに良くならなければ必要な利益をあげることはできない。
	雇用	求人広告	様々な不景気の影響が出るのが今年の冬あたりとの客からの意見が多い。業種によって様々だが、人を多く抱える製造業の企業は今よりもこれからの3か月先や半年先の見通しが経たないとの話だった。



Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	買い控えが見られる。
	商店街代表者	決算を迎えた業者からの情報では、新型コロナウイルスに係る補助金のおかげでようやく黒字になったという声を2, 3聞いている。
	スーパー	知人もアルコール類の購入がシビアになり、今までこだわった銘柄を購入していたが、今は特売品や人気がないビールでも価格が安ければ買うようになっている。景気が良いときの買い方から変化してきている。
	スーパー	買い物客の客単価が高い (2700円~3000円)。
	スーパー	スーパーのチラシは、価格訴求が多く見られる。今後を予測しての対策である。
	酒・各種商品小売業	水戸、勝田の飲食店で新型コロナウイルス感染者が出たため、夜営業の店は苦勞している。
	コンビニエンスストア	外食を中心に利用していた客が、コンビニエンスストアを利用しているためか、惣菜や麺類、酒等の動きが、客数が厳しいなかでも良い状況である。
	衣料品販売店	店の前の通りに人が見られない。
	コンビニエンスストア	昼食を買う客 (仕事関係の人) が減ってきている。
	小売業 (弁当・惣菜店)	新型コロナウイルスに対する不安感はまだあるものの、一部では戻りつつあると思う。ただ、次の感染ピークが来るかもしれないという漠然とした不安が、なかなかなくなっていないと思われる。また、多くのお店では対策を進めており社会全体では新型コロナウイルスに対しての意識が高いと思う。キャッシュレスに対しては随分浸透したと思われる。ただ、今度は手数料の負担が見込まれ、キャッシュレスに対応した価格改定を考えなくてはいけないと感じている。
	小売業 (燃料)	自動車による遠距離移動は、特に個人は全く回復していない。
	小売業 (水産物)	新型コロナウイルスの影響で、夜の営業 (飲食店や居酒屋等) の業者が厳しい運営状況で悲鳴をあげている。我々も同様で、先行きが不安材料ばかりである。
	スナック	景気は悪くなっているのに、週末などスーパーや海岸寺等の人出がすごく多い。
	観光型ホテル	新型コロナウイルスの結末が見えない不安が景気を抑制しているように思う。
	観光型ホテル	現時点では、状況は好転するとは見込めない。
	観光型ホテル	GoToトラベル事業は、業者、利用者ともに非常に複雑で分かりにくい制度になっている。クーポン券をコンビニ等で割引販売して、施設で割引くような分かりやすい方式にすべきだと考える。
	タクシー運転手	タクシーの売上げも、昨年と比べて5割程度しかない。現在は、国からの支援をいただきながら、何とか生活しているのが現状。この先の不安が募るばかりである。
	タクシー運転手	企業の社名変更が増えた。日立グループ企業が分離して、別の企業に移行した。
	ドライブイン	客にも働くスタッフにもコロナ疲れが出ている。自粛疲れやテレワーク者のケア、医療関係者への感謝は勿論だが、新型コロナウイルスに関係なく不特定多数の方々と接するスーパー、コンビニなど物販の接客のストレスは肥大化している様子である。
	レジャー施設	飲食店の営業もほぼ通常営業に戻ったが、客足が伸び悩んでいる飲食店が多いと感じる。一方、地域のスーパーマーケットは、依然として客数は昨年同時期と比較すると多くみられる。
	ゴルフ場	小売店の店主達が店自体運営できない等の話をよく聞く。
	ゴルフ場	7月以降、新型コロナウイルスによるコロナ禍を教訓として、人生における健康管理の大切さが再認識されており、高齢者の健康ゴルファーの来場が増えている。また、新しい生活習慣への転換努力が見える。
	ゴルフ場	レジャー関係の新型コロナウイルスによるコロナ禍からの回復傾向は堅調に伺える。
写真店	高齢者を対象とする行事がほとんど動かなくなり、中止になっている。イベントの中止によって、影響を受けている関係者は多い。	

企業	林業関係者	週末や連休の動きをみると、新型コロナウイルスに関する規制の緩和で全体的に景気が向上すると感じる。
	製造業（食料品）	9月19日からの連休では外出が増加して以前に近い感じがあった。ただし、平日は極端に少ない。
	製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスの終息次第では今後の景気回復が遅れる可能性がある。新型コロナウイルス発生前と同等にいつ頃戻るのが鍵ではないかと思う。
	製造業（電気機械器具）	新型コロナウイルスの影響で工事延期の件などがあり、今後数か月は影響が出るものと思われる。
	製造業（電気機械器具）	茨城県が東京方面の往来自粛を解除したが、以前のように観光客が来県するようなことはまだ実感できない。GoToキャンペーンに期待する。早く特效薬ができて、気軽に飲みに行けるような環境になってほしいものである。
	製造業（食料品）	スーパーのチラシの商品がやや安くなっている。売上げが悪いのではないか。
	製造業（化学工業）	政府系金融機関から新型コロナウイルス感染症対策の資金が市場に流れており、企業業績は回復していないのに株価は上昇している。コロナバブルが到来すると見ている。
	製造業（電気機械器具）	産業別でも新型コロナウイルスの影響は産業機器、自動車関連が大きく落ち込んでいたが、最近では重電関連も新型コロナウイルスの影響が出てきたようである。
	製造業（精密機器）	週休3日のところを時折聞く。前から継続している会社もある。
	製造業（精密機器）	周りも見通しがない状況で、やはり60%~65%位なので疲れている。
	金融業	長期化が見込まれる新型コロナウイルスへの対応として、Web会議システムの導入等が地方においても活発化してきている。また、スナック等の接客を伴う飲食店の廃業に向けた動きが見られている。
	不動産業	新型コロナウイルスの収束後もテレワークの積極活用により、今後オフィス需要の減速、労働者をターゲットにした飲食業などは厳しい状況が続くと思われる。
	運輸附帯サービス業	失業者が増えた。そして新しい就職先がなかなかみつからない。
雇用	求人开拓員	近所に大型ショッピングセンターがあるが、以前は土日祝日等は車が駐車場からあふれていたが、この頃は土日祝日でもかなり空きが目立っている。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	仕事柄、前年の実績をもとに販売計画を立て実行することが基本的な仕事の進め方だったが、今年は今までの経験や方法が新型コロナウイルスの影響で通用せず非常に混乱している。
	小売業	近隣地域でのクラスター発生により、客数、売上げに影響が出た。
	小売業	新型コロナウイルスの影響で都内等で買い物や遊んでいた方が、地元で消費するようになっている。ただ、外出回数は減らしているのではないかと。不必要な外出は避けている様子。
	割烹料理店	新型コロナウイルスのことを過度に意識しすぎているように思う。老人や持病のある人以外は軽度か無症状なので、若者や持病のない人は普通の生活に戻れるようにしないと、景気の悪化は加速してしまう。
	スーパー	肉食需要が高まっている。
	スーパー	秋になって、やや涼しくなってきたが、例年と異なり、日本酒が全然売れない。
	スーパー	GoToキャンペーンを利用したのか聞いてみたが、私の周りにはそういう人がいなかったのと思ったほどの効果が出ていないと思う。また、記入時点では茨城県はGoToイートにはエントリーしていないが、県としてGoToイートには参加しないのだろうか。
	家電量販店	今まで在宅関連が品薄だったが、今は潤沢になっている。マスク、手洗い等生活様式は変化しているが、慣れにより人の動きは変わらなくなってきている。
	小売業	若い人などの動きは徐々に戻りつつあると思う。
	自動車販売店	取引先、客からの情報では普通に戻りつつあるような感じがする。
	農産物直売所	店舗駐車場は、9月2日位から県外ナンバーの車がやや増えている。8月～9月は土浦、つくばナンバーの車が多く来店した。
	楽器販売	鍵盤楽器が何となく堅調な伸びを示している。1つは、特別給付金が家族分出たものの夏の旅行で遠くに行くのがはばかられたため、その分で良い楽器を買えるからか、電子ピアノが1ランク上になったり、生ピアノになったりしている。また、当社は現在、ギターなどの販売はほぼ行ってない状態だが、そのような中でもギターの弦交換の作業はとて多くさせて頂いている。件数としては、2件から20件程度になった。ピアノやアスティックギター等の室内で楽しめる楽器が好調。一方、複数人で行うような、マスク着用ができない管楽器は大苦戦を強いられている。
	レストラン	宿泊ゲストの増加や高額商品の出卓が目立つ。
	都市型ホテル	冠婚葬祭の縮小化、少人数化（家族だけ）が見られる。また、集宴会などの会合において懇親会は実施しない傾向がある。このほか、地元の客の宿泊需要増加傾向である。
	都市型ホテル	例年入っている予約の8割程は中止になり、次年の動きも検討中の所が多いため、この先も大きく回復するにはまだまだ先であると予測している。
	観光型ホテル	週末や連休で、他県ナンバーの車をはじめ交通量が多くなってきている気がする。また、飲食店においても、客が並んでいる店も見られるようになった。
	旅行代理店	GoToトラベルキャンペーンを利用する客の来店が増えた。
	タクシー会社	新型コロナウイルスの影響により外出を控えている方々が多く見られ、特に高齢者は必要最小限にとどめている傾向にある。また、企業も営業訪問等を自粛したりテレワークにより出社を控えている。そのためにタクシーの利用が減少し県外からの客数も減少している。結果として消費が減少して景気低下を招いていると判断している。
	スーパー銭湯	ソーシャルディスタンス対策には限りがあり、一日でも早く新型コロナウイルスの収束を願うばかりだ。
	ペット美容室	身近なところでのリモートワークの方は全くいない。「リモートで」との政府の言葉があったが、リモートができる仕事は限度がある。リモートが不可の方の今後も案じてほしいと思う。
設計事務所	政権が変わったが、一般の工務店や設計業では、ITの活用の方も少なく経済は変化なしと感じる。	

企業	製造業(食料品)	想像していないところで閉店や廃業が発生している。取引業者の廃業で新たな仕入れ先を探す事態となっている。
	製造業(食料品)	駅や牛久大仏などの大型施設の店舗が特に悪い。
	製造業(印刷・同関連業)	新型コロナウイルスの影響で倒産や店じまいをしたところがある。厳しい状況だと思っている。
	製造業(印刷・同関連業)	客との話の中で、この先どのような状況になるのか不安しか感じられない。
	製造業(窯業・土石製品)	少しずつ改善の兆しが見えつつも、新型コロナウイルスの影響で先行きは不透明である。
	製造業(一般機械器具)	三菱日立パワーシステムズが三菱パワーとなり、茨城の企業に仕事が出るのかわからない。
	製造業(精密機械器具)	これまで市場で競合する会社へ業務提携の話を持ち掛けたところ、予想に反して友好的で前向きな回答があり、少々驚くと同時に、これも新型コロナウイルスによるコロナ禍のなせる業の一環かと、ピンチはチャンスなのだと再認識した。
	建設業	各業界、経済の動向が読めない。
	運輸業(道路貨物運送業)	巣ごもり自粛で、外食や旅行等の消費の減少が続くと思う。
	金融業	市内百貨店内のテナント撤退が止まらない。また、飲食業のテイクアウトサービスが顕著である。このほか、リモートワークが増加し、PC関連が需要増となっている。
	不動産業	飲食店の撤退が増加していくのが不安である。
建設業	新型コロナウイルスの影響からか、土地を求める人は少し待った方が安くなるのではないかという考えがある。実際、そのような相談が多数入ってきている。とにかく、今は少し待ってみるとい声が多い。	
工務店	新型コロナウイルスの影響を受けている業界の方の話を聞くと、良い話題はあまりないようである。	
雇用	公共職業安定所	一部企業については、新型コロナウイルスの影響を受けておらず、業績を上げているところも見受けられる。
	求人开拓員	9月11日に実施した「元気いばらき就職面接会」において、来春卒業予定の新卒者の参加が予想より多かった。来春新卒者が雇用環境の厳しさを感じていることの表れかと思う。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見	
家計	商店街代表者	新型コロナウイルスのコロナ禍の中、市限定のプレミアム付クーポン券の1次2次販売を展開している。取扱加盟店も前回は上回る400社近くにもものぼり、今回は大型店を除いたこともあって券の換金の際の事業者を見ると、利用金額の大きさからみても一定の事業効果が期待できているのではと思っている。	
	スーパー	8月のお盆は帰省客の減少や花火や祭りなどのイベント中止により「ハレの日」需要が落ち込み、寿司や刺身、オードブルなどが大きく落ち込んだ。内食化傾向は強く、通常商品は非常によく売れている。ただし、3密対策のためか顧客の来店頻度の減少により客数はやや減少して、買上げ点数が増加する傾向は半年以上継続している。	
	コンビニエンスストア	レジ袋の利用者が非常に減っている。エコバッグを活用する客が多いことから、お金に対してシビアに感じている人が多い。	
	衣料品販売店	先行きの明るい話がない。ボーナスが出ない、出勤抑制、解雇等の話を聞くようになった。消費税減税もしくは一定期間廃止ぐらいにしないと景気は良くならなさそうである。	
	家電販売店	購買意欲が以前より下がっている。	
	小売業（菓子類）	人の流れ、移動が増えてやや景気が良くなってきている。	
	小売業（薬品店）	夜の店（居酒屋等々）では客が少ない。電車の乗客も少ない。	
	小売業（食品）	仕入業者や資材業者、同業者にも聞いているが、悪いと言っている。	
	小売業（書店）	やはり、外食や観光は傍目から見ても良くは見えない。その分、スーパーや巣ごもり商品が良くなっているのだと思う。決して販売市場のパイが増えているわけではないと思う。	
	和食レストラン	宴会は相変わらず予約は少ない。法事の予約が入るも、極力少人数となっている。外食を控え、テイクアウトの弁当やインターネットによる味噌煮込みうどんの受注はやや増加傾向。	
	洋食食堂	市の職員が2人感染し、大きなニュースとなった。インフルエンザになっても話題にはならないのに、違いの大きさを改めて思い知らされた。このほか、ディナータイムの時間帯が短く、アルコール等の出数も少ない。	
	日本料理店	個人店の閉店が話が出ている。	
	海鮮料理店	昼間はやや食事の来店があるが、宴会もなく、夜がとにかく暇である。	
	観光型ホテル	身の回りでも少しずつではあるが、通勤時の交通量の増加や近隣の店での来店客数の増加などから、外出する人は増加してきているように感じる。だが、宿泊の予約とキャンセルの比率が同じの日もあるため、新型コロナウイルスに消費者も大変振り回されているように思う。	
	運転代行	特徴的な動きが見られない。早く景気が良くなると非常に大変である。一日も早い景気の回復を願っている。	
	企業	理・美容店	若い客はお小遣いあまりないらしく、ツーブロックという髪を長く伸ばして、襟足近くだけをバリカンで刈り上げるスタイル（簡単で誰にでもできる）が見られる。
		クリーニング店	飲食店の米の消費が少なかったため、古米が残っていて、値下がりしている。病院では薬だけで、診察は先送りしている。
住宅販売会社		人員募集をしているが、ほとんど問い合わせがない。	
農業関係者		人々が家で過ごす時間が増えており、家庭で料理する機会が増え、野菜を買う人が増えている。	
製造業（化学工業）		定額給付金の支給と新型コロナウイルスによるコロナ禍の影響を反映して、食品や飲料の消費が増えているように思う。	
製造業（食料品）		神栖市のスポーツ民宿などはグループ宿泊について9割減となっている。学校の部活や団体スポーツ部員が多いので、宿泊を伴う合宿を避けている。	
製造業（食料品）		主要取引先の出張禁止や営業活動自粛等の解除が見られなければ、長期低迷は続く。	
製造業（電気機械器具）		飲食業や旅行業などはかなり酷い状態かと思われる。業種によっては、新型コロナウイルスの影響が少ないか、新型コロナウイルス流行前に戻っている。	
製造業（金属製品）		飲食店など来客数が減少している様子。閉店したところも多くなった。企業も同様に、受注の大幅減少によって、継続を検討する会社もある。新型コロナウイルスの影響でこのような選択は仕方ないのか。	
建設業		国や自治体の支援が煩雑で、しかも一時凌ぎのように思えてならない。	
運輸業（道路貨物運送業）		地元の企業では、週休3日制の工場関係が増加していると聞いている。	
金融業	外出を極力控えたいという方も依然多く、窓口に来店される客の数や来店頻度が減少している。		
保険業	コインランドリーの設置が見られる。		
不動産業	土地、その他アパートの物件の売り物が少し多くなっている。客より直接買ってくれないかとの相談もあり、これも新型コロナウイルスが景気に少し影響しているかもしれない。		
不動産業	世の中全体が活気に乏しく、せつかくのオリンピック等も望み薄である。生活にうるおいが乏しい感が景気を押し上げていない。		

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	家電販売店	隣にホームセンターができ、今後の客数増加に期待している。
	スーパー	秋の味覚、果物やサンマの不作、不漁により大きな影響が出ている。
	コンビニエンスストア	価格は高くても、味や品質が高い商品が売れている。この影響を受けて、自社は他のコンビニチェーンと比較して売上げがある程度安定しているのだと思う。
	農産物直売所	新型コロナウイルスの影響でが外食産業が低迷の中、家庭での食事が増えたことから、食材を販売する事業（スーパーなど）の業績が伸びている。宅急便事業もネット注文で配達数が大幅に増えたと聞いた。
	小売業	新型コロナウイルス感染防止意識もあり、3世代での行動が少なくなり、かつ、夜の客数が減少し、飲食・レストランの夜の消費が減退している。
	小売業（生花店）	一部の飲食店への小人数集客は増えてきているように思う。客の入っている店と入らない店がはっきりしてきたように思われる。
	小売業（米穀）	周辺テナントの家賃値下げ交渉が激しいそうである。駅周辺の時間貸しの駐車場料金も軒並み下がっている。
	洋食食堂	飲食業は大変な落ち込みだが、40代後半の客は沢山お金が残っているとのこと。足場関係、人材派遣、保育所経営などの儲かるビジネスで成功している人もいる。このほか、自然災害も影響が大きい。
	都市型ホテル	協力会社の閉店、縮小や新型コロナウイルスでのリストラなど当たり前のようになってきている。アフターコロナでのホテル業界は、たとえワクチンが開発されても過去のようなインバウンドやウェディング・忘年会・歓送迎会など新型コロナウイルス前に戻ることはないと思われる、という話をよく聞く。
	都市型ホテル	行政も10月～12月末に向けてイベントを開催する予定など明るい話題もある。ホテルとして積極的に参加していきたいと思う。土浦市はサイクリングに力を注いでおり、今回のイベントもサイクリスト向けの企画。
	都市型ホテル	政府施策のGoToキャンペーンも焼け石に水といった感じで、効果など全く感じられない。とにかく新型コロナウイルスの感染を収束させることが最優先である。収束したなら何もしなくても経済は復活するだろう。
	タクシー運転手	当エリアの応援体制として、来年2月末まで市内対象店舗、事業所で利用できる商品券を発行し、活性化を見込んでいる。
	タクシー会社	飲食店なども増えてきていると思う。
	サービスエリア	最近では、自店舗に限らず、新型コロナウイルスの影響から人員削減を行っている店舗が増えており、その影響から、アルバイト、パート募集の反応が以前よりも盛んに感じる。
	ゴルフ場	ゴルフ場の会員はプレー回数が増えて、来場数も増えた。遠出、旅行の自粛により、出かけることができないためとのこと。ただし、ゲストの同伴は感染リスクを考えるとやはり難しいとのこと。
	ゴルフ場	どこかに出かけるとしても、食事や買物に行くとしてもすべて新型コロナウイルスの影響によって制限される。こういう生活は初めてなので、やはり景気は鈍ってしまうと思う。早くワクチンが誰でも手に入るようにすることが景気の回復につながると思われる。
	テーマパーク職員	新型コロナウイルスによるコロナ禍で、様々な制限を強いられる方が多くなっている一方で、屋外での活動（体験・参加型）であればと、足を運ぶ方が多いように感じる。また、キャンプや新たにアウトドアアクティビティを趣味にしようと、備品を購入し今後の長期的な余暇にしようという方も多い。繋がりのあるキャンプメーカーでも、8月は売上げが急激に伸びている。屋外施設やアウトドア業界に関しては、今年の冬にかけては、景気が良くなるのではと感じる。
	ボウリング場	取引先の営業の方が新型コロナウイルスの影響で解雇されたのを聞いて、売上げが半分以下になった当社においてもこの先が不安である。
	理・美容店	バスの運転手、ホテル関係、飲食関係は特に悪いようだ。店に来なくなった（来れなくなった）人も何人かいる。早く新型コロナウイルスがなくなることを望む。
設計事務所	住宅ローンは前年の年収を基に借入可、不可が決められる。今年の新型コロナウイルスの影響で、客（外国人）の年収が減少し、客の住宅建築予算が低下している。従って、来年度の住宅ローンの借入が難しくなると考えている。	

企業	農業関係者	知り合いの飲食店が閉店となった。また、新型コロナウイルスのコロナ禍により、会社を解雇されて職を失い、当社アルバイトの応募者が増えた。
	製造業（食料品）	商品の問い合わせはあるが、予算の設定が厳しい状況が多い。利幅は薄い、客が継続購入できる値段設定を求められる。
	製造業（食料品）	周囲の飲食店の売上げは最悪である。
	製造業（印刷・同関連業）	周囲の会話の中からは悲観的な言葉が多く聞かれる。経済状況、温暖化（環境）問題、少子化問題などなど。その上、今回の新型コロナウイルス感染症問題と、未来に希望を持ってないと感じている人が増えているように思う。
	製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛や猛暑による屋外への外出の減少により、地域経済への影響が出てきている。
	製造業（非鉄金属）	受注高は戻ってきた。
	建設業	身の回りの同業者を見ると公共工事をもらっている業者は今まで通りか、それ以上に忙しくやっている。しかし、中国からの輸入で製品を作っている工場の営繕などを主に行っている友人の会社は工事が全然なくなってしまって暇で仕方がないと話していた。
	不動産業	新型コロナウイルスの影響で通勤通学の様子も変わってきて、駅近くの駐車場の解約も多くなってきている。新型コロナウイルスが落ち着かないと活性していかない様子。
	金融業	県南地区の歓楽街である桜町周辺のコインパーキングでは、平常時、週末夕方から夜間にかけて満車状態となるが、現在は3分の1程度しか利用されておらず、また、人通りが少なく閑散としている状況が続いている。
	不動産業	新型コロナウイルスによるコロナ禍で家賃値下げ要請が増加している。
雇用	求人広告	身の回りでもテイクアウトなどの生活スタイルの変化に伴い、買うものの変化が多く見られる。周りを見ても、こうしたパラダイムシフトが多く見られるようになってきていると感じる。
	公共職業安定所	アパレル（縫製業）は洋服が売れず、今後の受注の見込みが極端に少ない予定との回答があった。

## (5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	新型コロナウイルスで何もかもが変わってしまった。日本人としての気持ちや努力は変わらないでほしい。
	商店街代表者	今までも増して、大型スーパー、大型飲食店の建設がめじろ押しである。新聞折込も大型店のPRが多く、チラシも大判化していると思う。
	スーパー	とにかく外出を控え、買い控えをし、不測の事態に備えているような感じを受ける。
	スーパー	近隣の勤め先で残業が減った、なくなった等の話をよく耳にする。
	コンビニエンスストア	収入面が厳しくなりつつあるが、10月のタバコ増税を前に、カートンを大量購入・予約する客が散見される。収入が減っていない方については、消費する場面も減っているため、2年前と同等レベルの売上げの可能性もあるかもしれない。
	家電販売店	客の購入点数や購入単価に大きな変化はないが、年末に近づくにつれ、少しずつ上がっている状況。
	農産物直売所	嗜好品の売上がなかなか伸びない中、梨に関しては例年を上回る動きを見せている。しかし、不作により供給が需要に追いついていない。
	小売業（酒類）	「人寄せごと」、特にお葬式などの簡素化がここ数年少しずつ感じられてきていたのが、一気に加速し定着しつつある感じである。それに絡む引出物や飲食物の取り扱い量が激減している。
	製茶販売	高齢の方の集まりも少ない。人が集まらないからお茶会も少ない。お茶、お菓子なども買われていないのではないだろうか。
	日本料理店	日中は新型コロナウイルス前と変わらないが、夜になるととても静かである。活気はまったくない。人がいるのはスーパー、コンビニ、ドラッグストアと塾くらいではないだろうか。
	食堂	大人数での人の動きはほとんどないが、少人数での動きは新型コロナウイルスによる自粛前に戻りつつあるように感じている。
	旅行代理店	台風などの自然災害の対策をしたいが、お金がまわらないうえに貯金も少ないので、その対策が大変である。GoToトラベルは旅行業の私達にはあまり良くない。個人の客にだけメリットがあるようだ。
	タクシー運転手	この前、配送関係の仕事をしている人を乗せたが、非常に疲れた様子だったので、何気に聞いたところ「人が足りずフル回転で、猫の手も借りたくらい」と言っていた。「タクシーやめて宅配の仕事やらないか」と勧誘されて困った。やはりどうしようもなく忙しい職種も存在するのだと感じた。
	タクシー運転手	新型コロナウイルスの第3波が落ち着けば、景気は良くなると思うとの話が多い。
	ドライブイン	駐車場は24時間開放しているが、夜間立ち寄る車両が少なくなっている。特に小車両は週末激減している。
	ゴルフ場	今まで消費していなかった反動で、消費傾向にある気がする。商業施設も明らかに入場者が増えてきている。
商店街代表者	巣ごもり消費に関係する業種、リモートワークに関連する商品を扱う業種、新型コロナウイルス対策商品を製造・販売する業種は、今後も需要が続くものと予想される。	
設計事務所	新型コロナウイルスでお金のばら撒きがあったので、元々余裕のあった人や会社においてコロナバブルが散見される。	
企業	製造業（窯業・土石製品）	各取引先からの臨時休業のお知らせも引き続きあり、当社も7月から金曜、土曜は臨時休業として生産調整をしている。新型コロナウイルスへの対策見通しが立たないと厳しいかもしれない。
	製造業（窯業・土石製品）	色々な業界で、各人各様なサービスをして客を取り込もうと努力している。この新型コロナウイルス騒動で、客や仕事への向き合い方、サービスとは何であるかがこれから問われて、客やお金を払って下さる方々へ今までできなかった「真の」「誠の」取り組みが再発見できるチャンスと捉えることができる面ではありがたいことだと思っている。
	製造業（金属製品）	地域の同業者（特に自動車部品関係）のあいだで、諦めムードのような無気力な空気がある。
	建設業	原材料高の影響や入荷の状況によって景気が左右される。
	金融業	新型コロナウイルスによるコロナ禍で、本業を継続しつつ異業種に一部移行する事業所も徐々に増えてきている。
	不動産業	景気には関係ないが、不動産を探す客がハザードマップを持参するケースが増加している。
	サービス業（コンサル/外業）	飲食店街も、とにかく夜が静かになっているような気がする。
雇用	求人広告	空き物件などが増えたように感じる。飲食店など店を閉める光景をよく見る。
	学校就業関係者	商品価格（乳製品、野菜）が高騰している。また、技術職への求人について、人手不足の影響か賃金の改善がみられる。
	求人開拓員	製造業や介護職関係の事業所からの求人票登録依頼が徐々に増えているような状況がある。